

令和3年度

「就職先からの
卒業生に対する評価
(卒業生に関するアンケート)」
集計結果報告書
(令和元年度卒業生対象)

 高松大学

 高松短期大学

目 次

1. 実施要項	1
2. 集計結果 経営学部	
(1) 集計結果 概要	2
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	4
3. 集計結果 発達科学部（企業等）	
(1) 集計結果 概要	8
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	9
4. 集計結果 発達科学部（教育・保育等）	
(1) 集計結果 概要	13
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	14
5. 集計結果 大学院経営学研究科	
(1) 集計結果 概要	19
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	20
6. 集計結果 保育学科	
(1) 集計結果 概要	24
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	26
7. 集計結果 秘書科	
(1) 集計結果 概要	31
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	33
8. アンケート用紙	
(1) 高松大学卒業生に関するアンケート（企業等）	37
(2) 高松大学発達科学部卒業生に関するアンケート（教育・保育等）	38
(3) 高松短期大学保育学科卒業生に関するアンケート	39
(4) 高松短期大学秘書科卒業生に関するアンケート	40

令和3年度 就職先からの卒業生に対する調査（実施要項）

1. 目的

本学の卒業生を採用して頂いている企業・官公庁・病院・小学校・幼稚園・保育所・認定こども園などで、本学の卒業生が職場でどのように評価されているかを知り、また、本学の教育に対する忌憚のないご意見ご要望をうかがい、本学の教育の改善に役立てる。

2. 対象

令和元年度卒業生の就職先（大学、短大、大学院）

※ 卒業後1年を経過した者に関するアンケート

※ 発達科学部卒業生の就職先は、「企業等」と「教育・保育等」にアンケート用紙を分ける

3. 実施日・回収期日

実施日：令和3年7月

回収期日：令和3年7月末まで

4. 実施方法

令和元年度卒業生の就職先に、業種ごとに異なるアンケート用紙を郵送する。

5. アンケート項目

別紙アンケート用紙参照

6. データ集計

学部・学科ごとに集計する。また、記述部分は内容ごとにまとめる。

7. 発行形式等

簡易製本：7部

（大学各学部長、短大各学科長、研究科長、小会議室、キャリア支援課に配架）

学内公表：教職員には小会議室、スケジュールボード（文書管理）にて閲覧できるようにする。

学外公表：公式ホームページにて閲覧できるようにする。

8. 発行時期

令和3年9月30日

9. 担当

各学部・学科、学生支援部キャリア支援課

令和3年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 経営学部 集計結果の概要（令和元年度卒業生対象）

依頼数55に対し、協力数は30で回収率は54.5%で、昨年、依頼した同就職先（3ヵ月経過した卒業生）からの回収率（58.9%）と比べてやや低い結果となった。回答に協力いただいた企業の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6ヵ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅳ 令和2年4月に採用された本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

Ⅳ-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が73.4%とやや高い評価を得ている。「やや応えていない」が10.0%（3件）、「応えていない」は3.4%（1件：退職者）であった。

昨年と比較すると、「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が73.3%から73.4%とあまり変化はみられなかった。しかし、企業からのコメントを見ると比較的良い評価を得られている。この評価に満足せず、企業の人材ニーズや期待に応えることができるよう、より一層キャリア教育に力を入れていく。

Ⅳ-2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が50.0%だが、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」の割合も30.0%あった。また、「どちらかというとやや低い」「全体として低い」の割合は13.3%であった。

昨年に比べ、「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が56.3%から50%と数値が下がっている。今回のアンケートについては、昨年同様新型コロナウイルスの影響もあり、研修後実質仕事に携わる時間が短く、まだ評価をするには時間が必要になると考えられる。しかし、企業側から、「コミュニケーション能力が非常に高い」というコメントがみられたことから、短期間ではあるが力を十分に発揮している卒業生もいる。だが、「ICTの基礎力が不足し、真面目さについても欠けている」などのコメントがみられたことから、学生一人ひとりとより一層深く関わり、総合的な能力や意識を向上させることができるよう、キャリア支援課と経営学部とがさらに一体となって教育に取り組んでいく必要がある。

Ⅳ-3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が56.6%、「何ともいえない、わからない」の割合が43.4%、「あまり熱心でない」という回答はなかった。

就職支援活動や採用依頼活動に対する熱心さの割合が50%から56.6%と昨年よりも上がっている。キャリア支援課による学生指導とサポート、そして、経営学部教員全体でも担当学生への直接的な指導や就職活動セミナーへの参加、また、キャリアカウンセラー利用へのアプローチを積極的に取り組んできた結果であるだろう。しかし、この現状に満足することなく、学生が望む就職先あるいは選択肢を広げることができるよう、キャリア支援課と経営学部とが一体となって就職における全般の活動に力を尽くしていく。

Ⅳ-4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が58.6%、「採用は個人本位であり、何ともいえない」が27.6%、「求人・採用をしていく予定はあまりない」が6.9%、「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。

今後の本学卒業生の求人・採用に関して、「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の数値が73.3%から58.6%と昨年に比べ大幅に下がっている。このことから、各企業が求めている力に卒業生の就業力が追いついていないと感じる。本学の特徴を十分に生かし、積極性かつ就業力を備えた学生に育てていけるよう、一人ひとりに対して

さらにきめ細やかなキャリア教育をより一層実践していくことが急務である。

V. 貴社で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

「コミュニケーション能力」の回答が一番多く、次に「性格・人柄」「意欲・熱意」の回答が多く見られた。

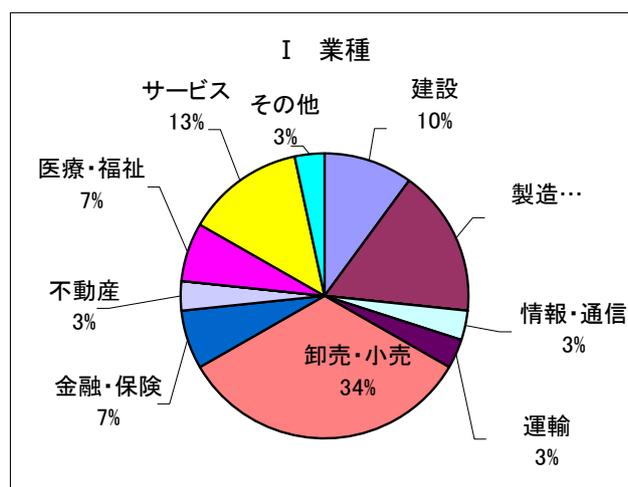
例年と同様、「コミュニケーション能力」「性格・人柄」「意欲・熱意」の回答が多かった。次に「自ら何事かを成し遂げようとする力」の回答が多い。これらの能力はすぐに身に付く能力ではないので、日頃の授業だけでなく学生指導、キャリア教育すべてを通して継続的に連動性を持って養成していく必要がある。今後は、経営学部とキャリア支援課を中心に教職員がさらに連携をとって学生指導に努めていきたい。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (経営学部)

調査対象	令和元年度高松大学卒業生就職先 55社	
実施時期	令和3年7月	
調査方法	郵送による質問紙法	
回収率	依頼数	55社
	協力数	30社
回収率		54.5%

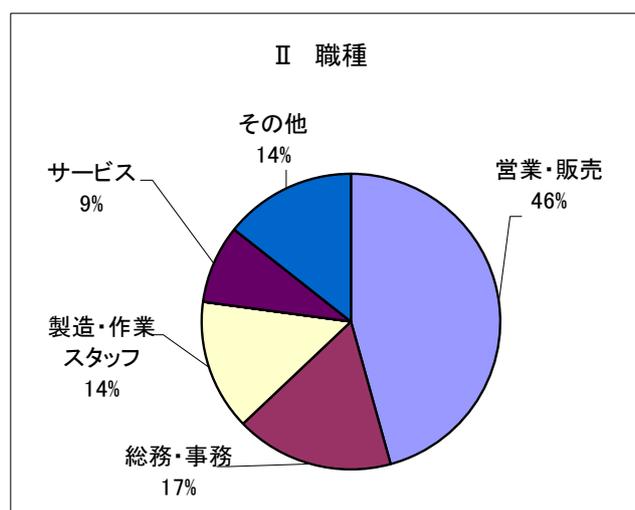
I 貴社の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	3
2	製造	5
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	1
5	運輸	1
6	卸売・小売	10
7	金融・保険	2
8	不動産	1
9	飲食・宿泊	0
10	医療・福祉	2
11	サービス	4
12	その他	1



II・III 令和2年4月に採用された本学卒業生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した人数についてお答えください。

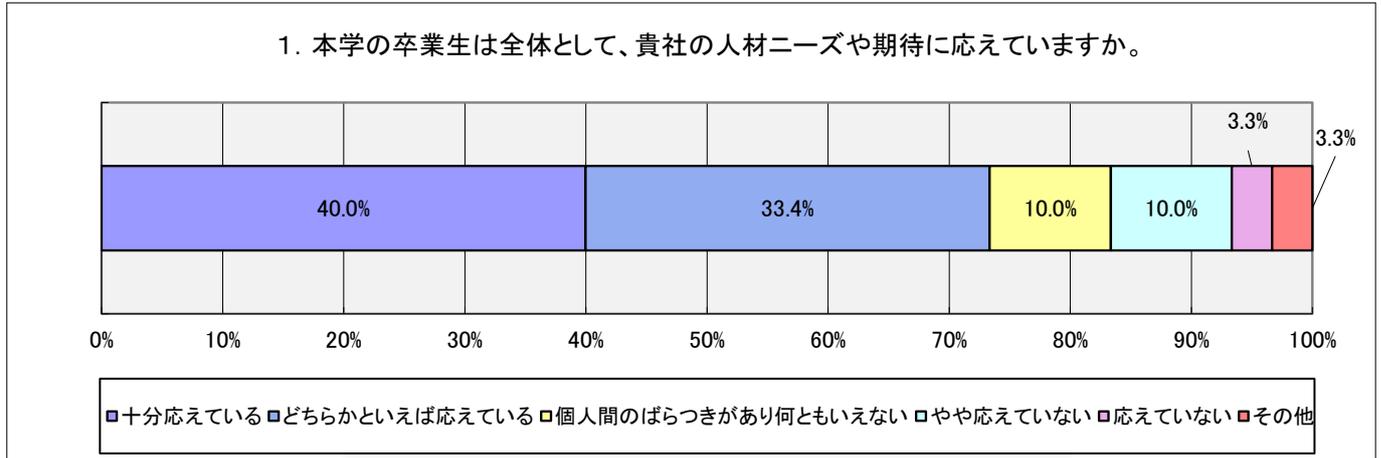
職 種	件数	人数	内留学生	内退職者(6ヵ月以内)
1 営業・販売	14	16	1	0
2 総務・事務	4	6	0	0
3 製造・作業スタッフ	5	5	0	1
4 通訳・貿易	0	0	0	0
5 サービス	3	3	0	0
6 公務	0	0	0	0
7 その他	4	5	0	1



IV 令和2年4月に採用された本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

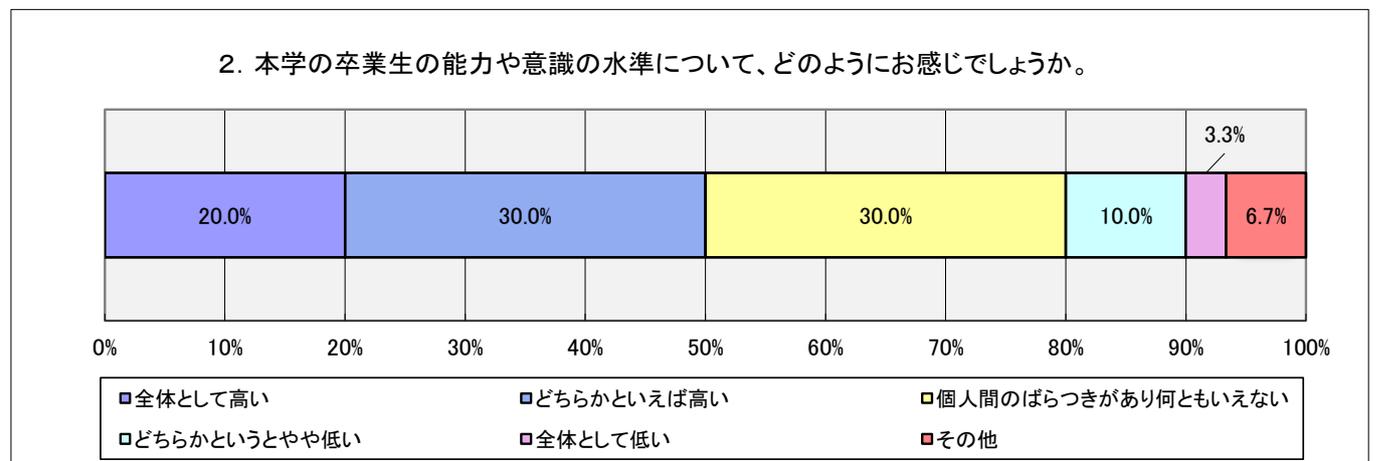
1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にえていますか。

項目	件数
1 十分応えている	12
2 どちらかといえば応えている	10
3 個人間のばらつきがあり何ともいえない	3
4 やや応えていない	3
5 応えていない	1
6 その他	1



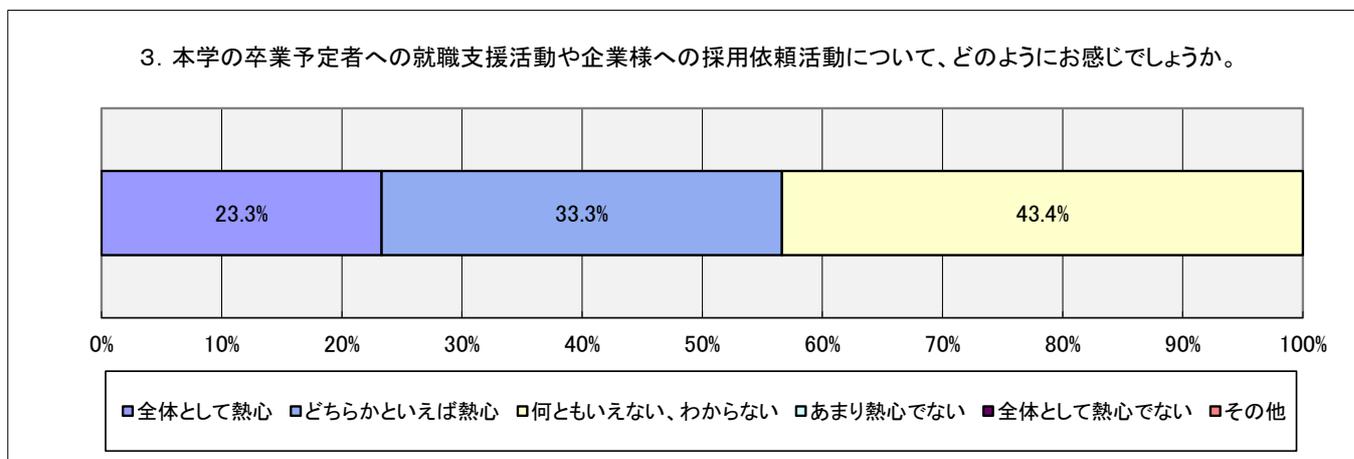
2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

項目	件数
1 全体として高い	6
2 どちらかといえば高い	9
3 個人間のばらつきがあり何ともいえない	9
4 どちらかというやや低い	3
5 全体として低い	1
6 その他	2



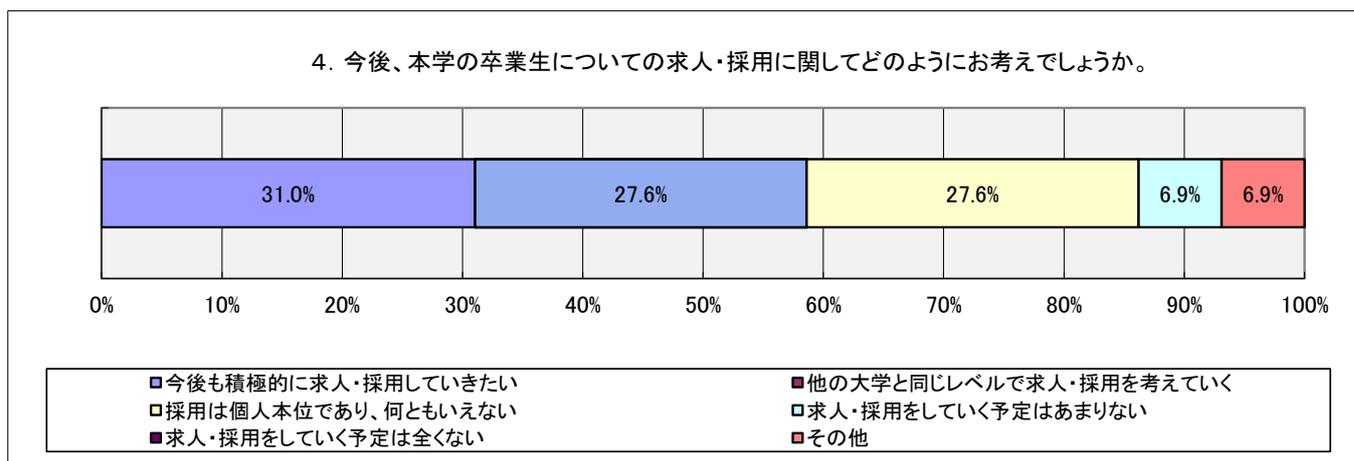
3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのように感じでしょうか。

	項目	件数
1	全体として熱心	7
2	どちらかといえば熱心	10
3	何ともいえない、わからない	13
4	あまり熱心でない	0
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0



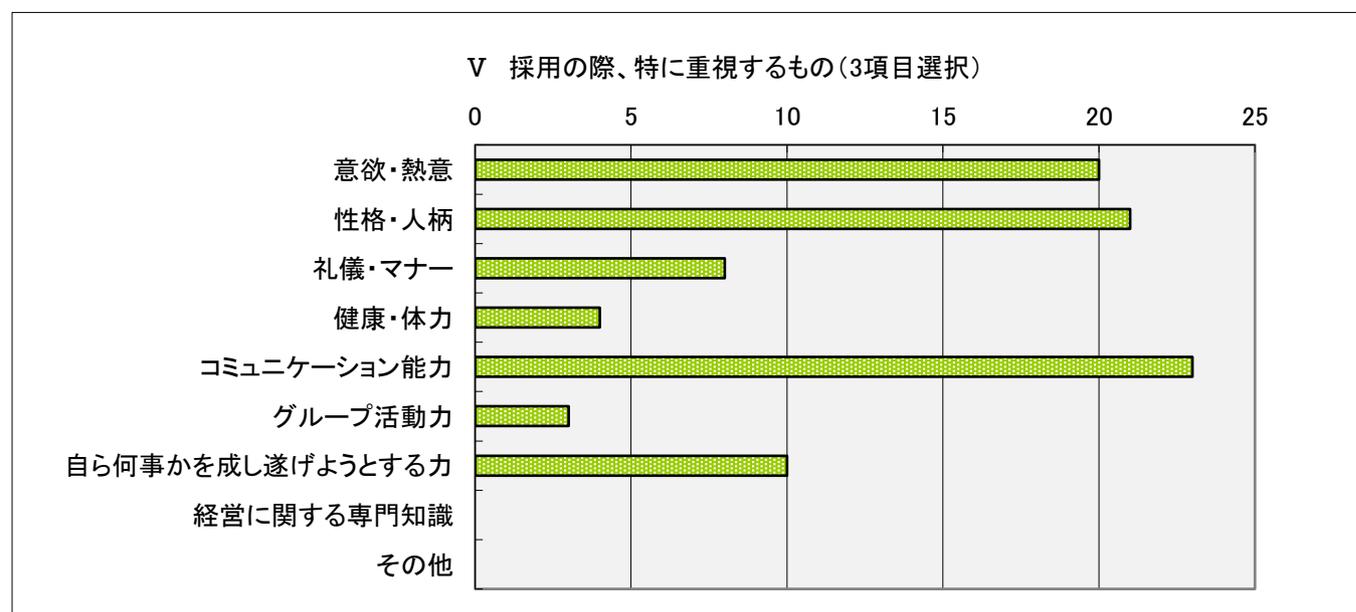
4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

	項目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	9
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	8
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	8
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	2
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	2



V 貴社で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

	項目	件数
1	意欲・熱意	20
2	性格・人柄	21
3	礼儀・マナー	8
4	健康・体力	4
5	コミュニケーション能力	23
6	グループ活動力	3
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	10
8	経営に関する専門知識	0
9	その他	0



令和3年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 発達科学部（企業等） 集計結果の概要（令和元年度卒業生対象）

依頼数 18 に対し、協力数は 10 で回収率は 55.6%で、昨年、依頼した同就職先（3 ヶ月経過した卒業生）からの回収率（78.9%）と比べて低い結果となった。回答に協力いただいた企業の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6 ヶ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅳ 令和2年4月に採用された本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

Ⅳ-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」が 55.6%（5 社）、「どちらかといえば応えている」が 44.4%（4 社）を占めている。また、「やや応えていない」「応えていない」という回答はなかった。

採用2年目を迎え、企業等から卒業生に求められるものが、採用当時に比べ当然厳しくなる中、回答の全てが肯定的な評価であったことは喜ばしい限りである。

Ⅳ-2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」が 20.0%（2 社）、「どちらかといえば高い」が 40.0%（4 社）で、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 30.0%（3 社）、「どちらかというやや低い」の割合が 10.0%（1 社）を占めている。

採用3か月時(昨年)は肯定的な回答が8割であった。1年が経過しその割合は6割に低下したが、採用時に比べて企業等の評価が厳しくなるのは当然のことと捉えることが出来る。卒業生の今後の奮闘に期待したい。

Ⅳ-3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」が 10.0%（1 社）、「どちらかといえば熱心」が 40.0%（4 社）で、「何ともいえない、わからない」が 40.0%（4 社）、「あまり熱心でない」が 10.0%（1 社）を占めている。

キャリア支援課で、個人指導等大変熱心に学生をサポートしていただいていることに感謝したい。企業等の肯定的な評価は、昨年に比べ 16.6 ポイント低くなっていることから、企業等がどのような就職支援・採用依頼活動を求めているのか、大学として把握する努力が必要なのかもしれない。

Ⅳ-4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」が 70.0%（7 社）、「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」が 20.0%（2 社）で、「採用は個人本位であり、何ともいえない」が 10.0%（1 社）を占めている。

肯定的な回答の割合は、昨年度の 80 ポイントから今年度は 90 ポイントへと増加している。今後も発達科学部と企業等とのパイプづくりに努めるとともに、企業等が求める人材育成に努め、地域貢献への寄与を一層確かなものとしていかなければならない。

Ⅴ 貴社で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

「意欲・熱意」（9 社）、「コミュニケーション能力」（7 社）、「性格・人柄」（6 社）といった資質・能力を上げる企業が多く見られた。

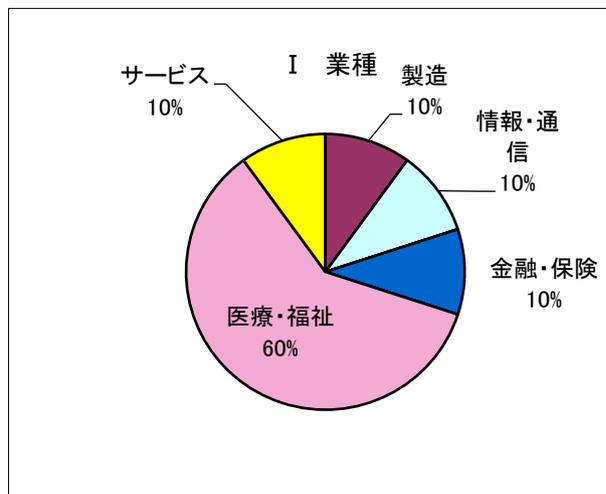
上位3項目は教育・保育等においても同じであり、職業人として求められる資質と捉えることが出来る。第1位は教育・保育等が「性格・人柄」であるのに対し、企業等では「意欲・熱意」であることは興味深い。意欲・熱意の有無が企業等に貢献できるか否かの要素と捉えることができる。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (発達科学部 企業等)

調査対象	令和元年度高松大学卒業生就職先 18社	
実施時期	令和3年7月	
調査方法	郵送による質問紙法	
回収率	依頼数	18社
	協力数	10社
回収率		55.6%

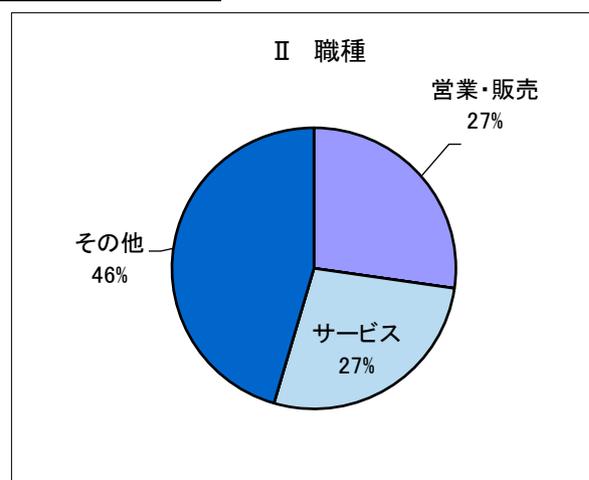
I 貴社の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	0
2	製造	1
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	1
5	運輸	0
6	卸売・小売	0
7	金融・保険	1
8	不動産	0
9	飲食・宿泊	0
10	医療・福祉	6
11	サービス	1
12	その他	0



II・III 令和2年4月に採用された本学卒業生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した人数についてお答えください。

	職 種	件数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	営業・販売	3	3	0
2	総務・事務	0	0	0
3	製造・作業スタッフ	0	0	0
4	通訳・貿易	0	0	0
5	サービス	2	3	0
6	公務	0	0	0
7	その他	5	5	0

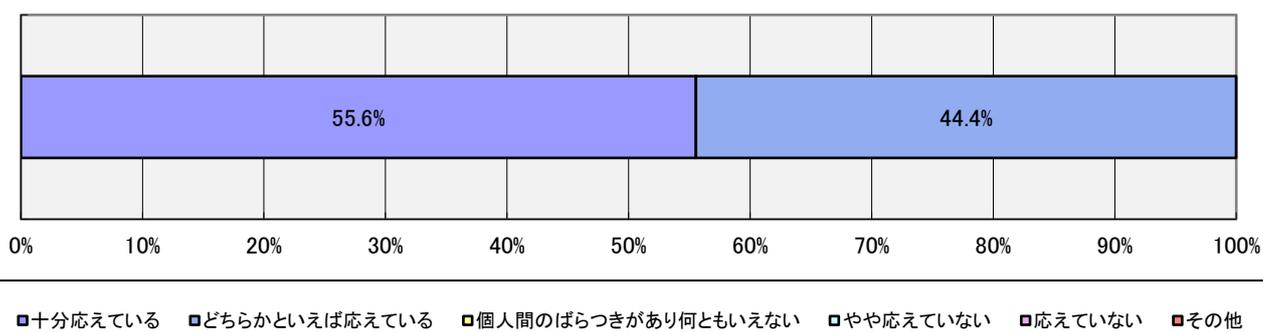


IV 令和2年4月に採用された本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項目	件数
1	十分応えている	5
2	どちらかといえば応えている	4
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	0
4	やや応えていない	0
5	応えていない	0
6	その他	0

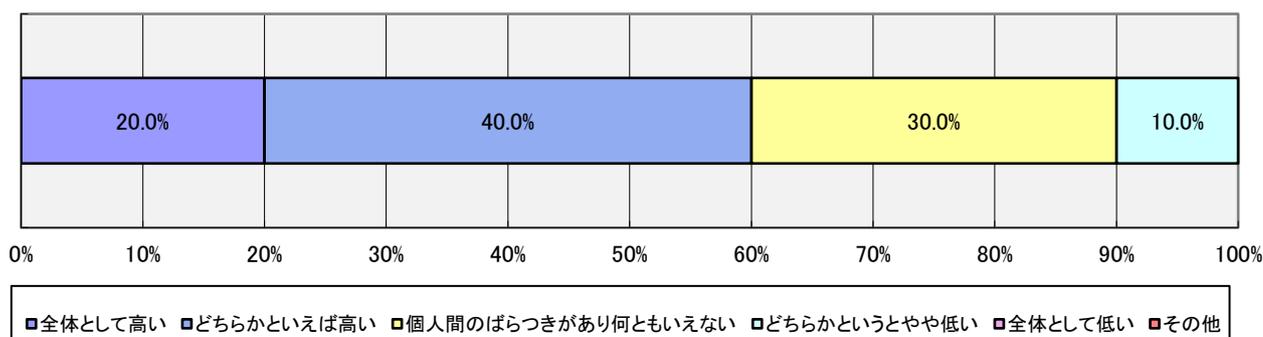
1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。



2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

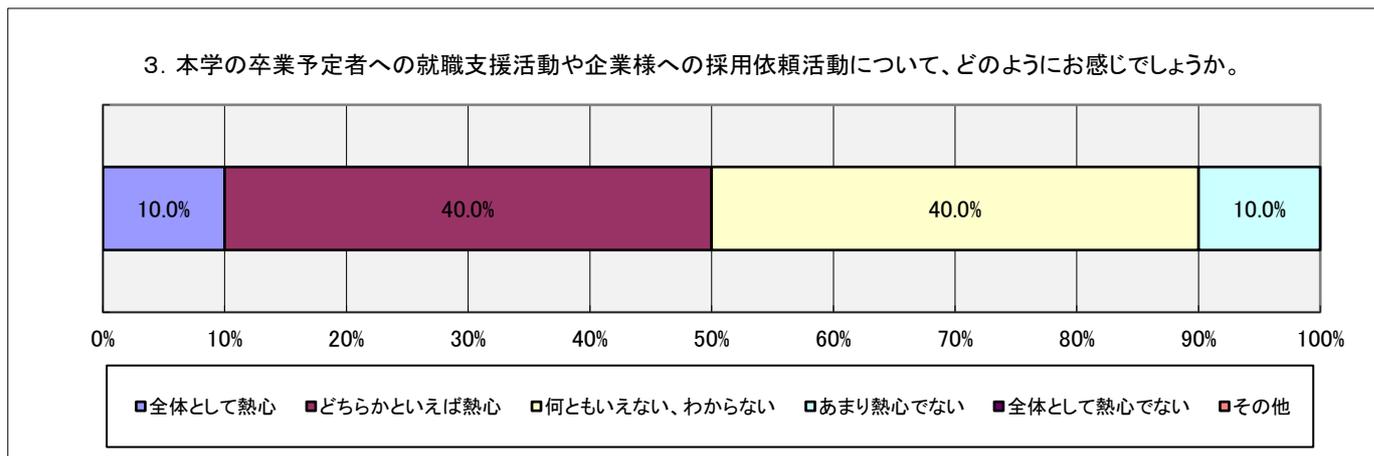
	項目	件数
1	全体として高い	2
2	どちらかといえば高い	4
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	3
4	どちらかというやや低い	1
5	全体として低い	0
6	その他	0

2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。



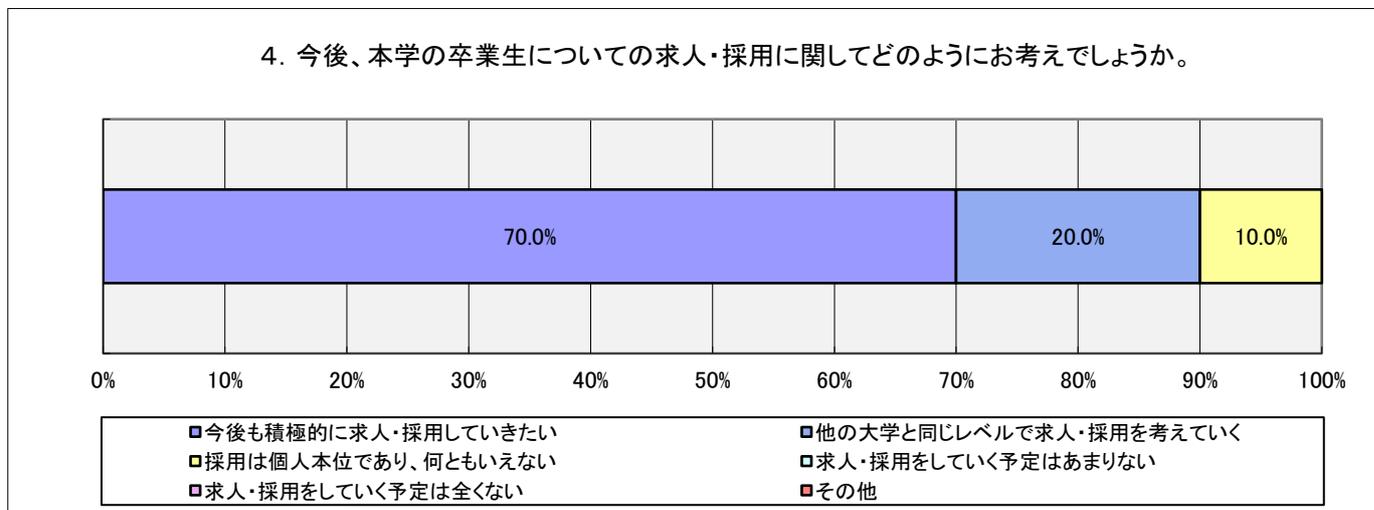
3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項目	件数
1	全体として熱心	1
2	どちらかといえば熱心	4
3	何ともいえない、わからない	4
4	あまり熱心でない	1
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0



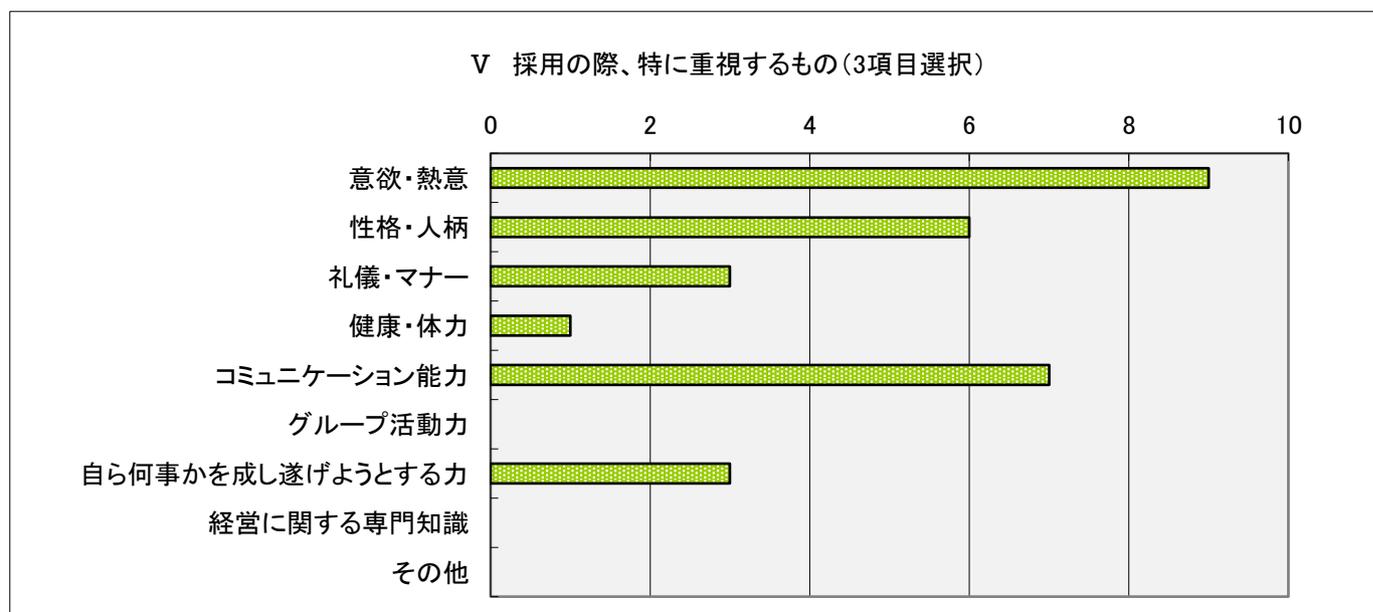
4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

	項目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	7
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	2
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	1
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0



V 貴社で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

	項目	件数
1	意欲・熱意	9
2	性格・人柄	6
3	礼儀・マナー	3
4	健康・体力	1
5	コミュニケーション能力	7
6	グループ活動力	0
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	3
8	経営に関する専門知識	0
9	その他	0



令和3年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 発達科学部（教育・保育等） 集計結果の概要（令和元年度卒業生対象）

依頼数 48 に対し、協力数は 37 で回収率は 77.1%であった。昨年、依頼した同就職先（3 ヶ月経過した卒業生）からの回収率（75.0%）と比べてやや高い結果となった。回答に協力いただいた小学校・幼稚園・保育所等の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6 ヶ月以内）については図 I、II のとおりである。

Ⅲ 令和2年4月に採用された発達科学部卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

Ⅲ-1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校（園、所）の人材ニーズや期待にえていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が合わせて 72.9%とやや高い評価を得ている。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 19.0%、「やや応えていない」「応えていない」という回答は 8.1%であった。

昨年(採用3か月時)は肯定的回答が 88.5 ポイントであったのに対して、2年目を迎えた今年の調査では 72.9 ポイントにとどまった。経験に伴い求められるものが大きくなっていることが窺える。

Ⅲ-2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が 51.3%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 35.1%、「どちらかというやや低い」「全体として低い」という回答は 13.6%であった。

Ⅲ-1の項目同様、肯定的回答は採用3か月時に比べ 26.5 ポイント低下している。この1年間の中で卒業生が幾多の壁や困難に遭遇しているであろうことが想像できる。教職に対する強い意志と粘り強さを持ち、失敗経験から学ぶ構えを持った学生を育成していきたい。

Ⅲ-3. 本学の貴校（園、所）への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が 54.5%、「何ともいえない、わからない」が 36.5%、「あまり熱心でない」「全体として熱心でない」という回答は 9.0%であった。

昨年の結果に比べ肯定的な回答が 17.3 ポイント増加した。今後もキャリア支援課のサポートや地道な取り組みをお願いするとともに、学生への指導を一層充実させていきたい。

Ⅲ-4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」が 75.0%であり、「採用は個人本位であり、何ともいえない」が 8.3%であった。「求人・採用をしていく予定はあまりない」が 4.2%で、「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。

「その他」は 12.5%で、市での人事のため回答できない旨の記述もあった。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」の回答は、昨年度と比べ大幅に増加(30.6 ポイント増)しており、教育・保育の現場が本学部学生に期待して頂いていることは大変有り難い。今後も教職を目指す学生への指導・育成に学部を挙げて取り組んでいきたい。

Ⅳ 貴校（園、所）で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

「性格・人柄」「意欲・熱意」の回答が最も多く、続いて「コミュニケーション能力」の回答が多く見られた。

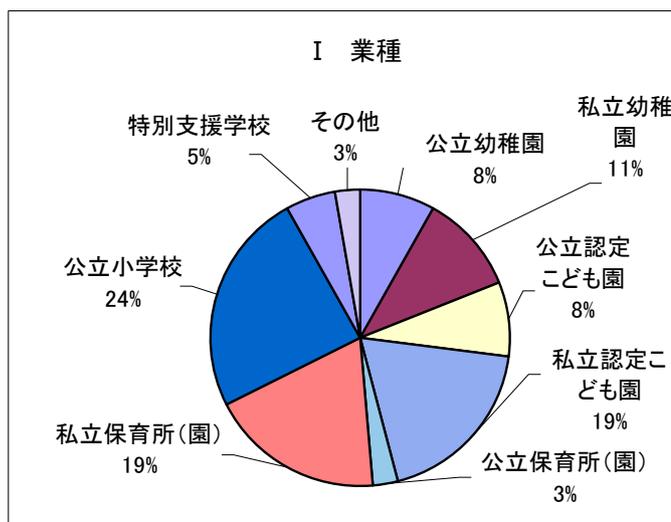
上位3項目は企業等においても同じであり、職業人として求められる資質と言える。第1位は企業等が「意欲・熱意」であるのに対し、保育・教育等は「性格・人柄」となっている。教職においては絶対条件である。学生には大学4年間の中で「自分づくりをする」という意識を持たせたい。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (発達科学部 教育・保育等)

調査対象	令和元年度高松大学 発達科学部 (教育・保育) 卒業生就職先	48校 (園・所)
実施時期	令和3年7月	
調査方法	郵送による質問紙法	
回収率	依頼数	48校 (園・所)
	協力数	37校 (園・所)
回収率		77.1%

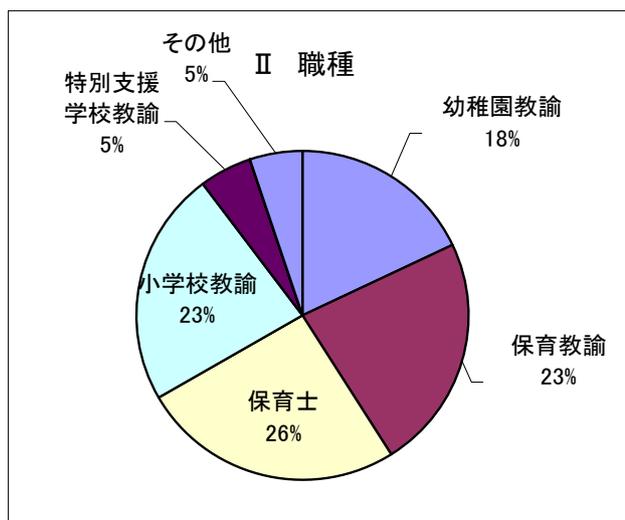
I 貴校(園・所)の区分についてお答えください。

	業 種	件数
1	公立幼稚園	3
2	私立幼稚園	4
3	公立認定こども園	3
4	私立認定こども園	7
5	公立保育所(園)	1
6	私立保育所(園)	7
7	公立小学校	9
8	特別支援学校	2
9	その他	1



II 令和2年4月に採用された発達科学部卒業生の仕事(職種)ごとの人数およびそのうち既に退職した人数についてお答えください

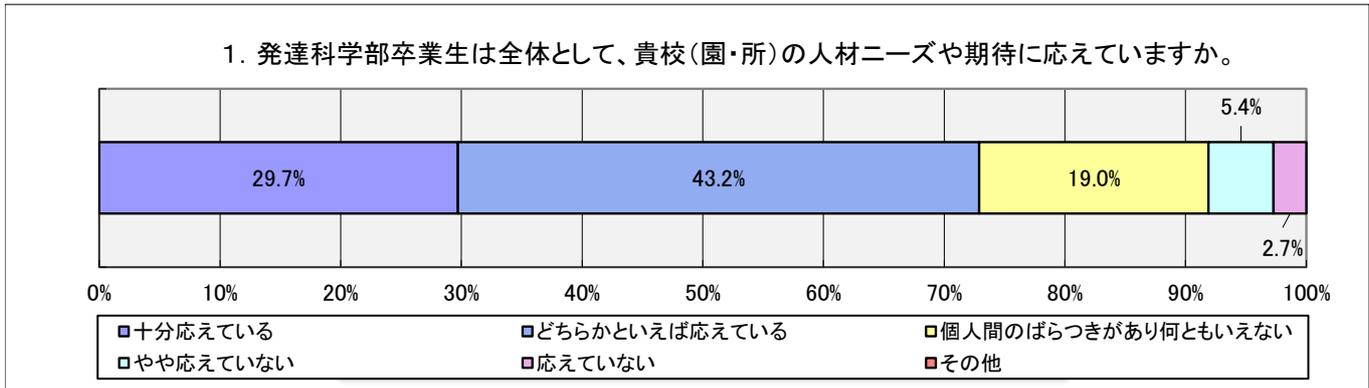
	職 種	件数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	幼稚園教諭	7	7	0
2	保育教諭	8	9	0
3	保育士	9	10	1
4	小学校教諭	9	9	0
5	特別支援学校教諭	2	2	0
6	地域子育て支援センター職員	0	0	0
7	学童保育担当	0	0	0
8	病児保育担当	0	0	0
9	その他	2	2	0



Ⅲ 令和2年4月に採用された発達科学部卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

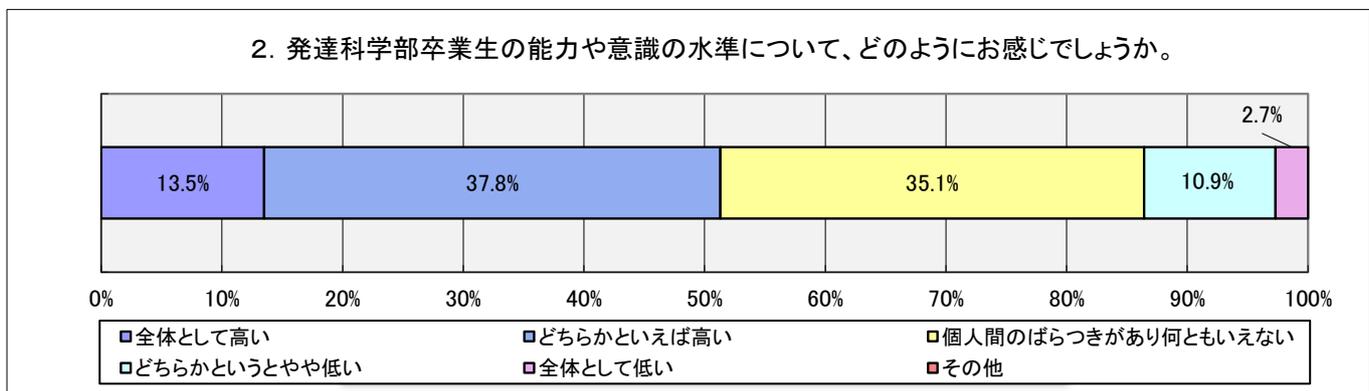
1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校(園・所)の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項目	件数
1	十分応えている	11
2	どちらかといえば応えている	16
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	7
4	やや応えていない	2
5	応えていない	1
6	その他	0



2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。

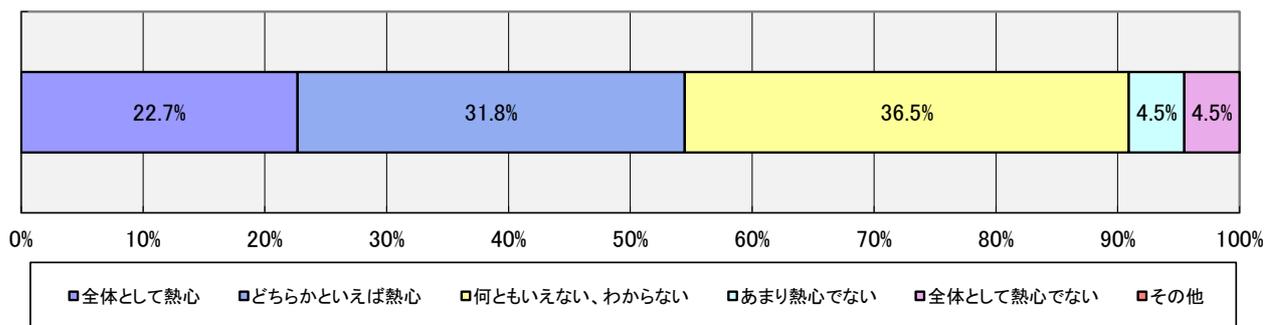
	項目	件数
1	全体として高い	5
2	どちらかといえば高い	14
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	13
4	どちらかというとやや低い	4
5	全体として低い	1
6	その他	0



3. 本学の貴校(園・所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項目	件数
1	全体として熱心	5
2	どちらかといえば熱心	7
3	何ともいえない、わからない	8
4	あまり熱心でない	1
5	全体として熱心でない	1
6	その他	0

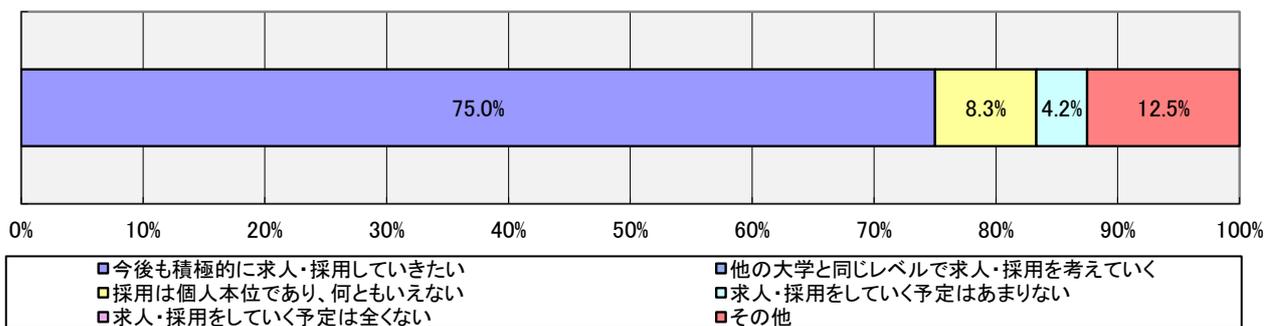
3. 本学の貴校(園・所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。



4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。

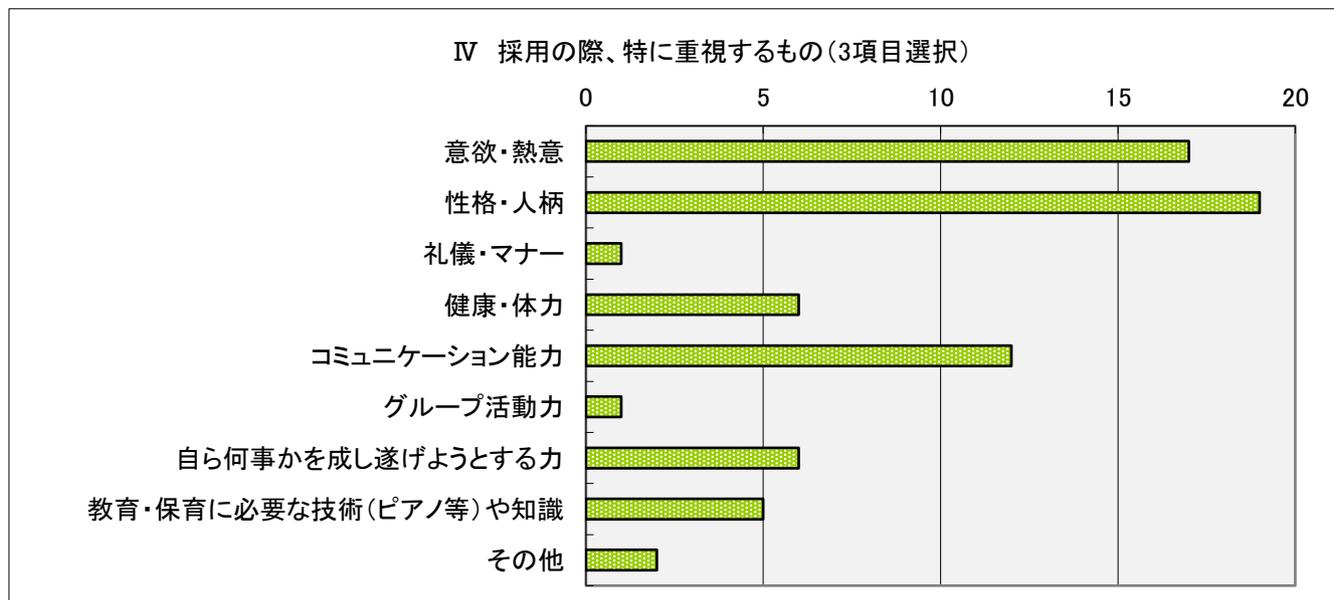
	項目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	18
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	0
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	2
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	1
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	3

4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。



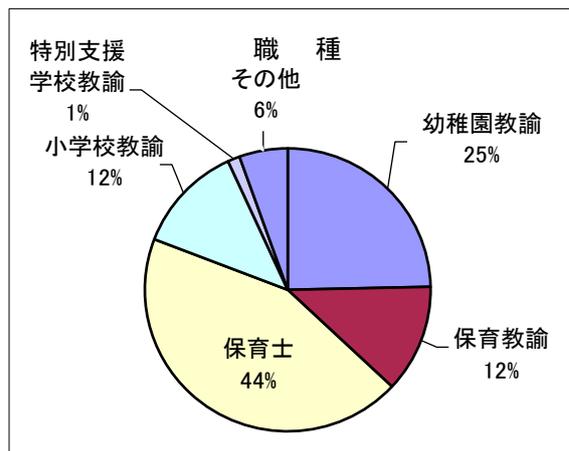
IV 貴校(園・所)で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

	項目	件数
1	意欲・熱意	17
2	性格・人柄	19
3	礼儀・マナー	1
4	健康・体力	6
5	コミュニケーション能力	12
6	グループ活動力	1
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	6
8	教育・保育に必要な技術(ピアノ等)や知識	5
9	その他	2

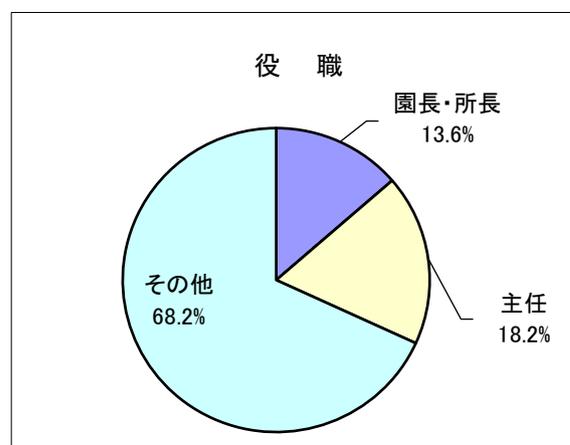


VI 最後に、本学発達科学部の卒業生についてお答えください。
 貴校(園・所)では、本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、職種、役職者数についてもお答えください。

	職 種	件数	人数
1	幼稚園教諭	7	18
2	保育教諭	7	9
3	保育士	10	32
4	小学校教諭	8	9
5	特別支援学校教諭	1	1
6	その他	3	4
卒業生数		33	74



	役 職	件数	人数
1	園長・所長	3	3
2	副園長・副所長	0	0
3	主任	4	4
4	その他	9	15



令和3年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 大学院経営学研究科 集計結果の概要（令和元年度卒業生対象）

依頼数2に対し、協力数は1で回収率は50.0%であった。昨年、依頼した同就職先（3ヵ月経過した卒業生）からの回収率（0%）と比べて高い結果となった。回答に協力いただいた企業の業種・卒業生の職種・人数・退職者数（6ヵ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅳ 令和2年度に採用された本学修了生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

Ⅳ-1. 本学の修了生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」との回答であった。

就職先企業から高い評価を得られて指導教員としては指導に間違いはなかったと確信している次第である。むしろ、本人の努力がないとこういう評価は得られない。

Ⅳ-2. 本学の修了生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」との回答であった。

大学院生は比較的学部学生よりも能力や意識水準が高く、就職先企業からもそのあたりを評価していただいたと思っている。

Ⅳ-3. 本学の修了予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」との回答であった。

大学院生についてはおおむね就職活動については積極的であるから、大学の就職支援活動が活かされており、かつ採用依頼活動を積極的に行っている企業はありがたいと思っている。

Ⅳ-4. 今後、本学の修了生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」との回答であった。

高い評価をいただいた結果として、こうした回答があったとみている。今後も同様の評価がいただけるように指導していきたい。

Ⅴ 貴社で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

「性格・人柄」「健康・体力」「コミュニケーション能力」を重視するとの回答であった。

就職先企業が求める人物像は大学でも同様であり、特に「コミュニケーション能力」は大学の指導次第で、身に付けることができるものだからそのあたりを考えて指導していきたい。

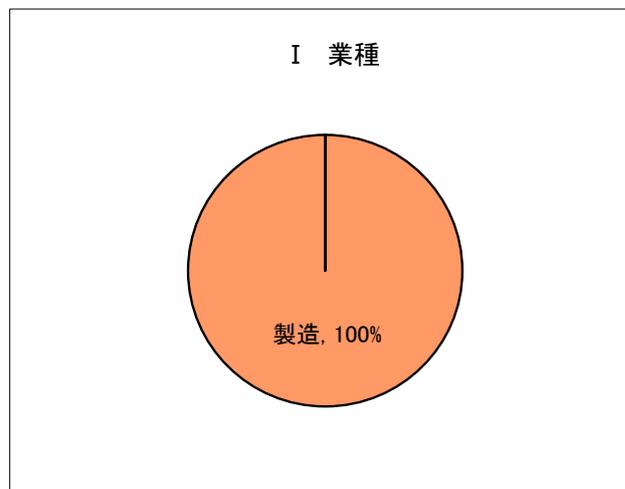
総評 就職先の企業からは、極めて高い評価をいただいた。本人はとてもまじめで企業でも十分にその期待に応えられると信じていたが、この評価をみるとその通りであった。おおむね大学院生は目的意識もしっかりとしており、企業で働くことへの関心も強いいため、指導する側からしても安心して就職先に送り出すことができる。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (大学院経営学研究科)

調査対象	令和元年度高松大学大学院修了生就職先 2社		
実施時期	令和3年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	2社	
	協力数	1社	
回収率		50.0%	

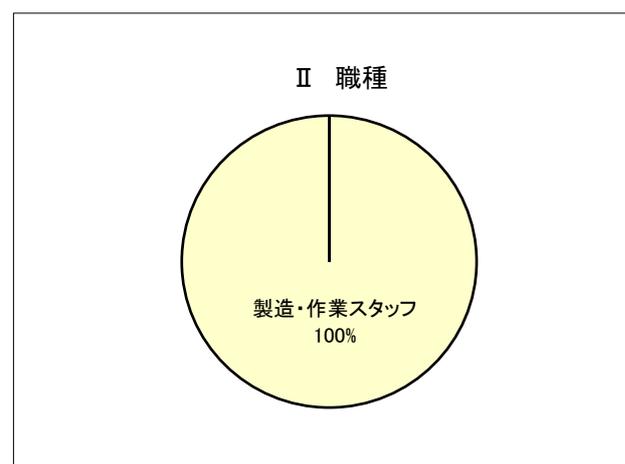
I 貴社の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	0
2	製造	1
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	0
5	運輸	0
6	卸売・小売	0
7	金融・保険	0
8	不動産	0
9	飲食・宿泊	0
10	医療・福祉	0
11	サービス	0
12	その他	0



II・III 令和2年4月に採用された本学修了生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した人数についてお答えください。

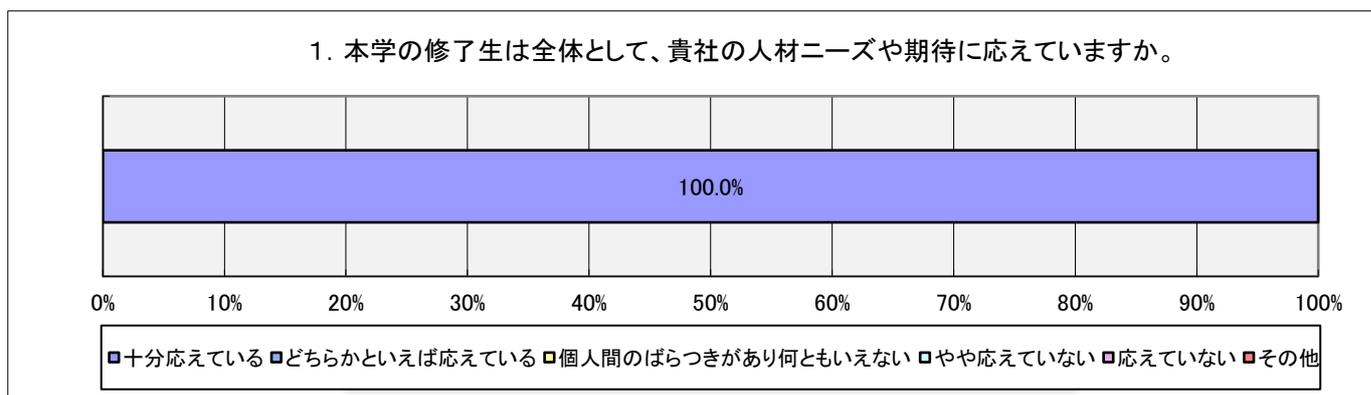
	職 種	件数	人数	内留学生	内退職者(6ヵ月以内)
1	営業・販売	0	0	0	0
2	総務・事務	0	0	0	0
3	製造・作業スタッフ	1	1	1	0
4	通訳・貿易	0	0	0	0
5	サービス	0	0	0	0
6	公務	0	0	0	0
7	その他	0	0	0	0



IV 令和2年4月に採用された本学修了生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

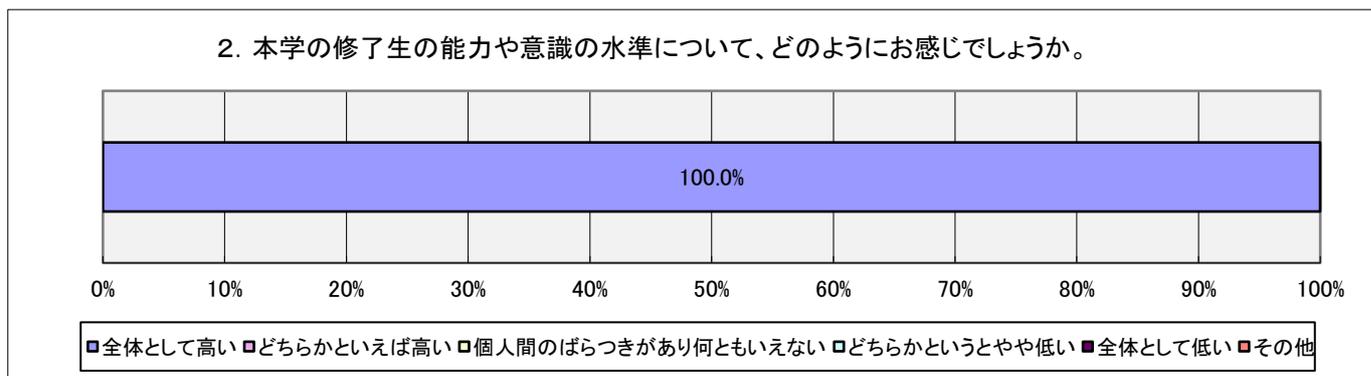
1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項目	件数
1	十分応えている	1
2	どちらかといえば応えている	0
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	0
4	やや応えていない	0
5	応えていない	0
6	その他	0



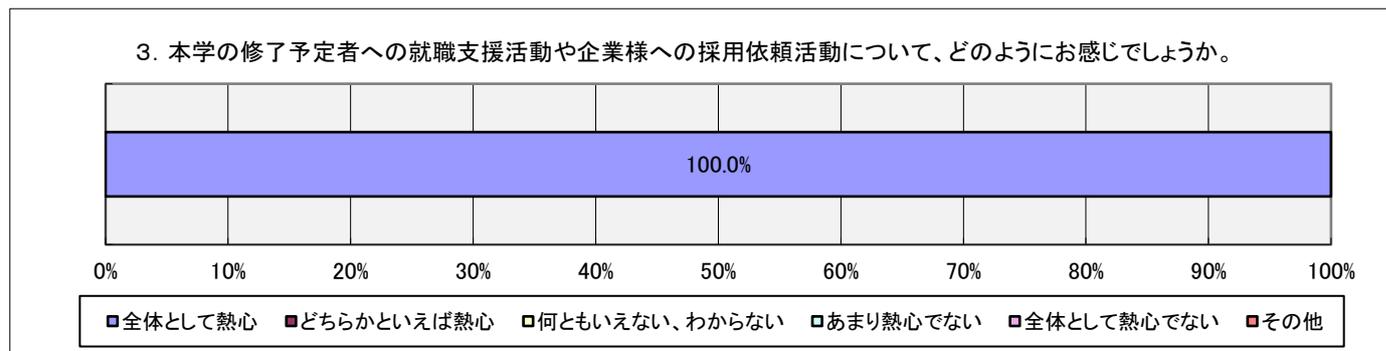
2. 本学の修了生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項目	件数
1	全体として高い	1
2	どちらかといえば高い	0
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	0
4	どちらかというとやや低い	0
5	全体として低い	0
6	その他	0



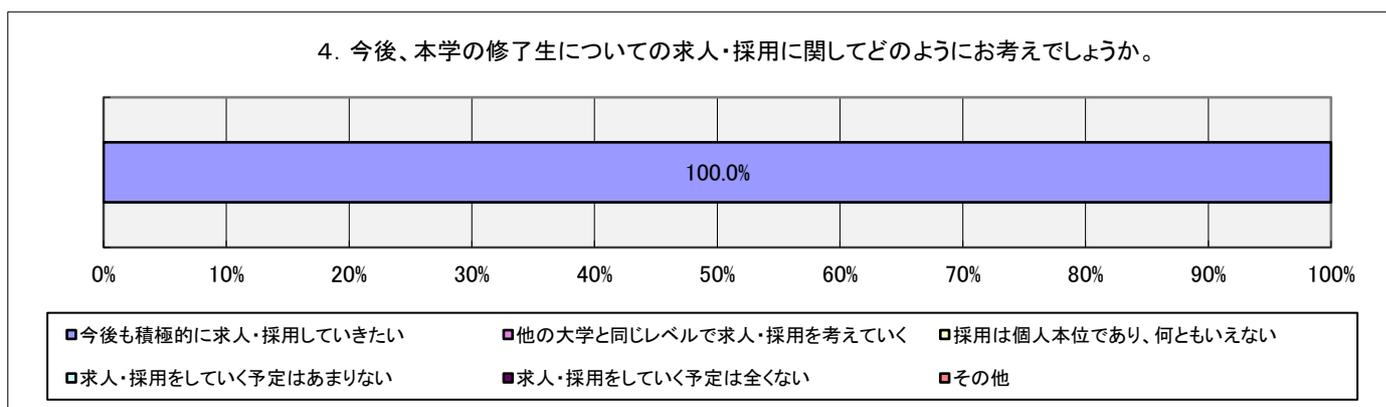
3. 本学の修了予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項目	件数
1	全体として熱心	1
2	どちらかといえば熱心	0
3	何ともいえない、わからない	0
4	あまり熱心でない	0
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0



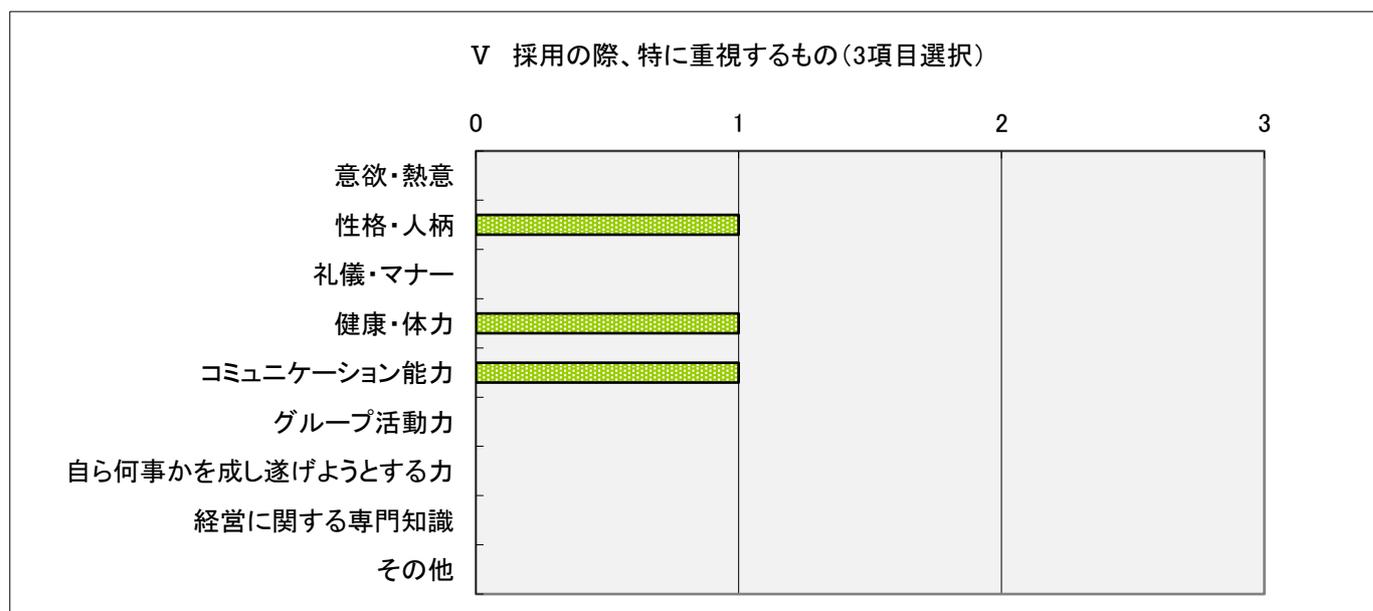
4. 今後、本学の修了生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

	項目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	1
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	0
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	0
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0



V 貴社で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

	項目	件数
1	意欲・熱意	0
2	性格・人柄	1
3	礼儀・マナー	0
4	健康・体力	1
5	コミュニケーション能力	1
6	グループ活動力	0
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	0
8	経営に関する専門知識	0
9	その他	0



令和3年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 保育学科 集計結果の概要（令和元年度卒業生対象）

依頼数 51 に対し、協力数は 38 で回収率は 74.5%で、昨年、依頼した同就職先（3 ヶ月経過した卒業生）からの回収率（83.3%）と比べてやや低い結果となった。回答に協力いただいた幼稚園・保育所等の業種、卒業生の仕事（職種）・人数・退職者数（6 ヶ月以内）についてはⅠ、Ⅱのとおりである。

Ⅲ 令和2年4月に採用された保育学科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

Ⅲ-1. 保育学科卒業生は全体として、貴園（所）の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が 64.8%であり、やや低い評価となっている。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 24.4%であった。また、「やや応えていない」が 5.4%、「応えていない」の割合が 5.4%（1件：退職者）であった。

コロナ対応で通常とは違う園環境の中での勤務であることなどから、卒業生がどの程度職場で自己発揮しているか、つかみにくいところではあるが、6割強の卒業生については、概ね就職先の人材ニーズや期待に応えてくれているようである。これは、学生時代にも意欲的に授業に臨むなど本人の資質に加え、就職してからの卒業生本人の努力や成長もあってのことと思われる。また「十分応えている」に○を付けていただいた卒業生については、保育補助ボランティアやアルバイト、実習等で将来を見据えた園との良好な関係を構築することができた者がほとんどで、就職するまでのプロセスも大きく影響しているように思われる。

「個人間のばらつきがあり何ともいえない」に○のついている卒業生については、複数採用により、卒業生個々人の差があることから、本学に対する評価としては何ともいえないということと思われる。ただ、1名採用の施設についてもここに○がついている場合があり、過去に採用となった先輩方に対する評価と併せて本学評価を考えられた場合や、本人の中に良さや課題が混在していることから一概に評価しにくい状況があると捉えられた可能性もある。

「やや応えていない」と「応えていない」に○の付いていた卒業生については、早期離職による期待外れと保育者としての未熟さが要因にあるように思われる。これらの卒業生は在学中にも課題を感じていた者で、即戦力としては及ばずとも、保育者としてのあるべき姿を理解し誠実に取り組めるよう、養成に努めていかなければならないことが分かった。

Ⅲ-2. 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が 48.6%であった。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 40.5%で一番多い回答であり、「どちらかというやや低い」「全体としてやや低い」の割合は 8.2%（3件）であった。

比較的高い評価をいただいたものが半数弱と、厳しい評価になっている。国公立就職者等、在学中から保育者としての意識が高かった学生には高い評価傾向が見られており、卒業生本人の努力や成長もあってのことだが、保育学科の指導の在り方を確認する上でも有益な結果であった。引き続き、高い評価をいただけるよう、より良い指導を追求していきたい。また、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」のみで4割にもなっており、Ⅲ-1同様、施設側の捉え方の幅を感じるころであるが、それでも保育者としての資質に課題を感じる場面が多いと言わざるを得ないのであろう。「どちらかというやや低い」「全体としてやや低い」と評価された学生は、Ⅲ-1同様、在学中に課題を感じた学生である。毎年、一定数はこうした学生が散見されることから、個別対応の充実を図っていくことも重要と考える。

Ⅲ-3. 本学の貴園（所）への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が 67.5%であった。「何ともいえない、わからない」が 29.8%あり、「あまり熱心でない」「全体として熱心でない」という回答はなかった。

「何ともいえない、わからない」に○が付いている公立園は各市町としての採用であるためやむを得ないものであるが、高松市内外に関わらず実習園以外では、採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動が頻繁でないのは確かである。学生の就職志望の有無も大きく関係してくるので難しくもあるが、キャリア支援課といういつでも対応してくれる開かれた窓口もあり、年間を通しての就職への意識付けを行うとともに、保育補助ボランティア・アルバイトや園見学も含め、就職希望園との事前のつながりがもてる機会について積極的に働きかけていきたい。

Ⅲ-4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」の割合が62.2%、「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」を合わせると73.0%の割合であった。「採用は個人本位であり、何ともいえない」は16.2%、「その他」は8.1%で、市での人事のため回答できない旨の記述もあった。

今後の求人・採用に関しても前向きな回答が得られて大変有難い。引き続き、コロナ感染症対策の動向も踏まえながら、保育補助ボランティアやアルバイト、実習等で将来を見据えた園との良好な関係を構築できるよう保育学科での指導を充実させていく。

Ⅳ 貴園（所）で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

「意欲・熱意」の回答が一番多く、次いで「性格・人柄」「コミュニケーション能力」が重視されている。

保育の専門的知識や技能が上位に現れず、上記のような結果になることは、保育者においても職業人としての基本が重視されていることの表れである。したがって、今後も本学が重視する「対話に基づく人間教育」を推進し、学生の人間性を涵養していくことに努めていきたい。

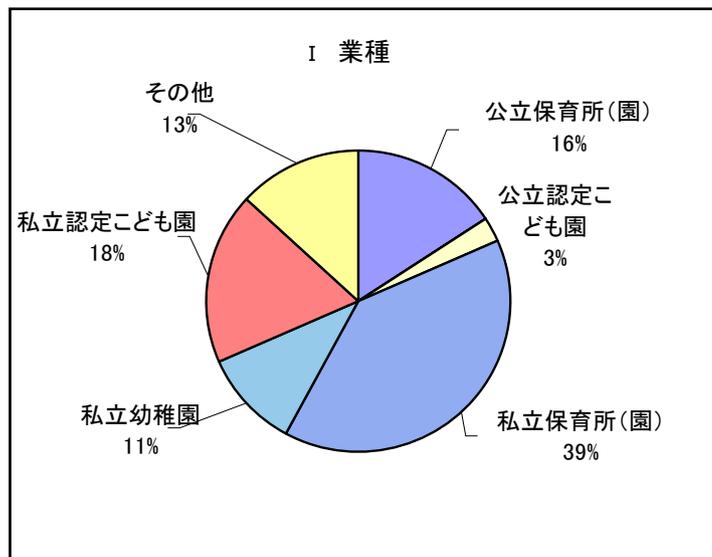
なお、自由記述欄においては、保育者としての基本姿勢の育成と併せ、専門的知識や技能の習得への意見も多く見られている。このことから、各教科での知識・技術の習得に向けても、さらに力を入れていきたいところである。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (保育学科)

調査対象	令和元年度高松短期大学卒業生就職先 51園(所)	
実施時期	令和3年7月	
調査方法	郵送による質問紙法	
回収率	依頼数	51園(所)
	協力数	38園(所)
	回収率	74.5%

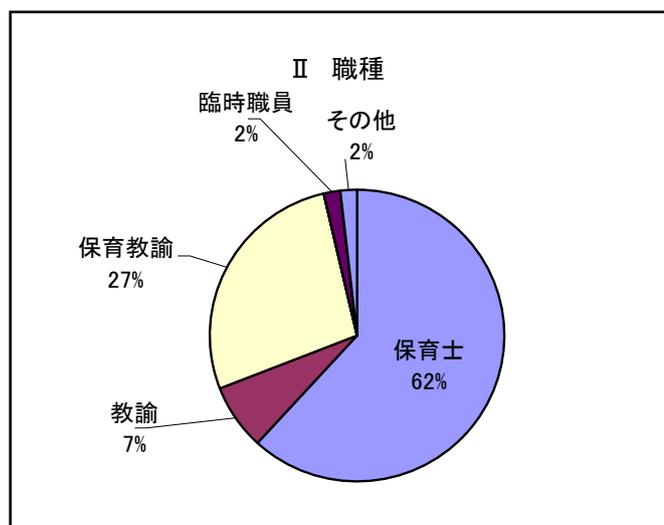
I 貴園(所)の業種についてお答えください。

	業種	件数
1	公立保育所(園)	6
2	公立幼稚園	0
3	公立認定こども園	1
4	私立保育所(園)	15
5	私立幼稚園	4
6	私立認定こども園	7
7	その他	5



II 令和2年4月に採用された保育学科卒業生の仕事(職種)ごとの人数およびそのうち既に退職した人数についてお答えください。

	職種	園(所)数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	保育士	21	34	2
2	教諭	4	4	0
3	保育教諭	10	15	0
4	講師	0	0	0
5	臨時職員	1	1	0
6	預かり保育	0	0	0
7	地域子育て支援センター職員	0	0	0
8	学童保育担当者	0	0	0
9	病児保育担当者	0	0	0
10	その他	1	1	1

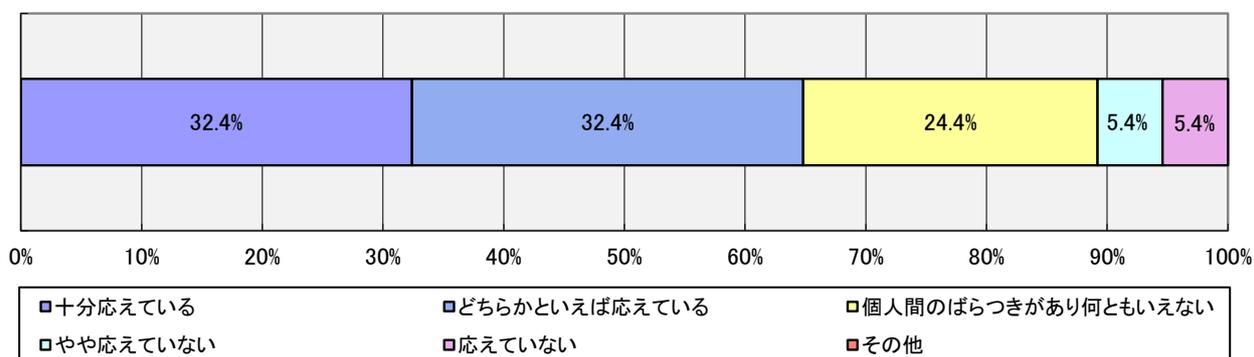


Ⅲ 令和2年4月に採用された保育学科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

1. 保育学科卒業生は全体として、貴園(所)の人材ニーズや期待に応えていますか。

項目	件数
1 十分応えている	12
2 どちらかといえば応えている	12
3 個人間のばらつきがあり何ともいえない	9
4 やや応えていない	2
5 応えていない	2
6 その他	0

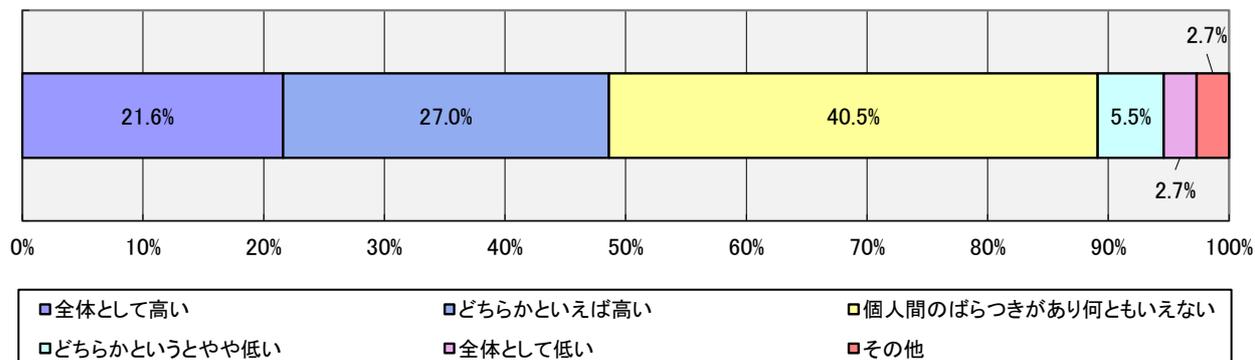
1. 保育学科卒業生は全体として、貴園(所)の人材ニーズや期待に応えていますか。



2. 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

項目	件数
1 全体として高い	8
2 どちらかといえば高い	10
3 個人間のばらつきがあり何ともいえない	15
4 どちらかというとやや低い	2
5 全体として低い	1
6 その他	1

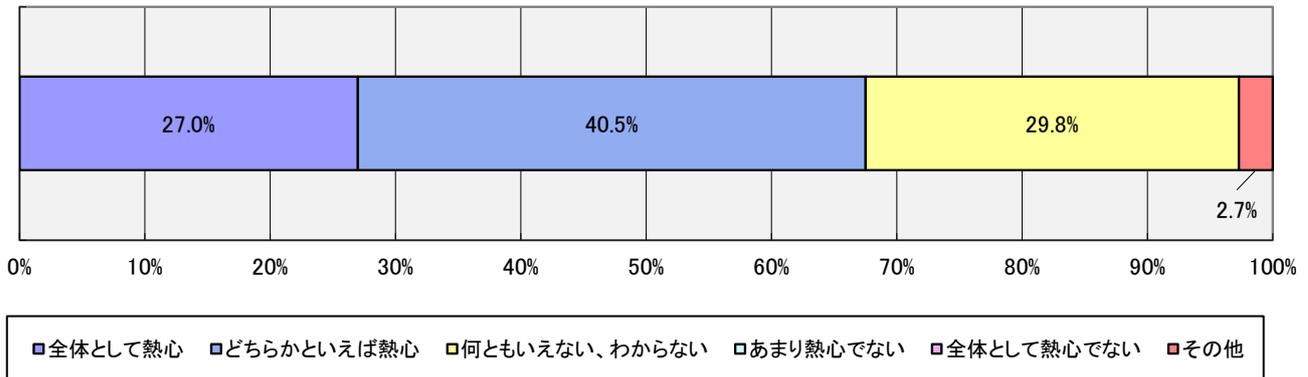
2. 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。



3. 本学の貴園(所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのように感じでしょうか。

	項目	件数
1	全体として熱心	10
2	どちらかといえば熱心	15
3	何ともいえない、わからない	11
4	あまり熱心でない	0
5	全体として熱心でない	0
6	その他	1

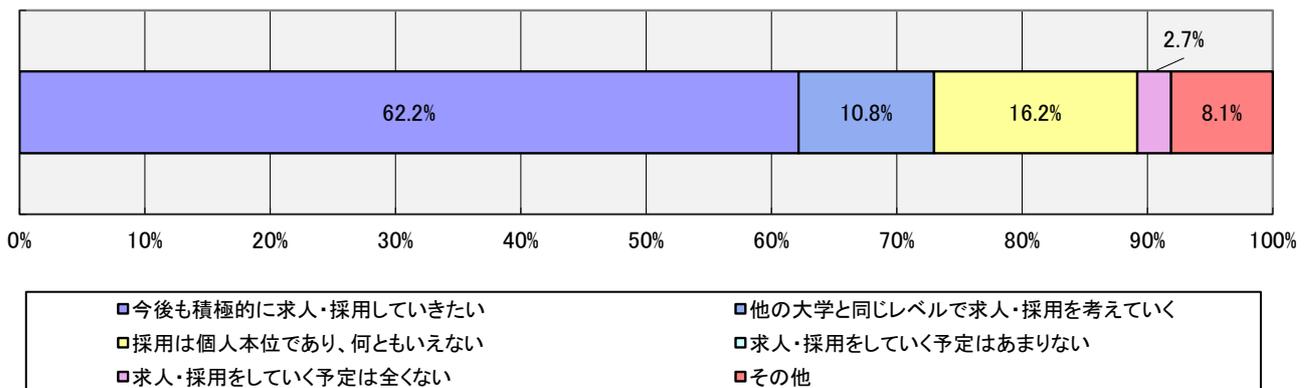
3. 本学の貴園(所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのように感じでしょうか。



4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用にどうお考えですか。

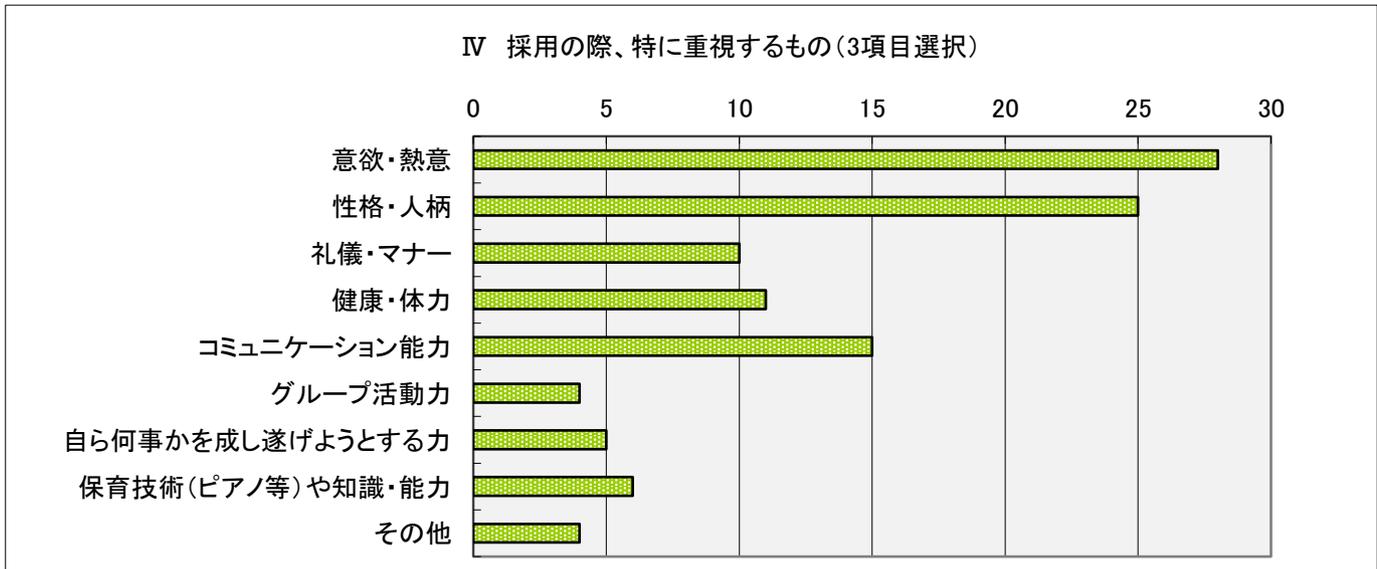
	項目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	23
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	4
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	6
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	1
6	その他	3

4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用にどうお考えですか。



IV 貴園(所)で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

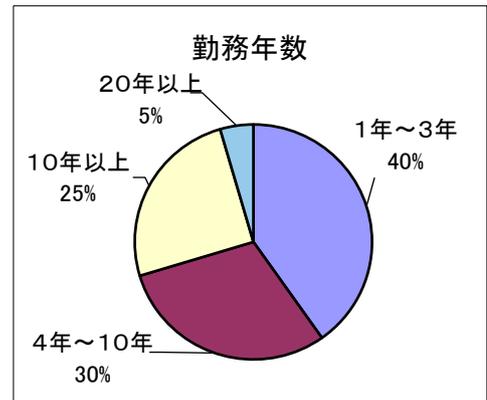
	項目	件数
1	意欲・熱意	28
2	性格・人柄	25
3	礼儀・マナー	10
4	健康・体力	11
5	コミュニケーション能力	15
6	グループ活動力	4
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	5
8	保育技術(ピアノ等)や知識・能力	6
9	その他	4



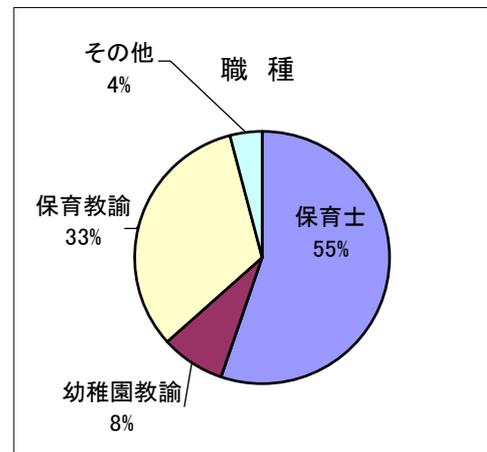
VI 最後に、本学保育学科(幼児教育学科、児童教育学科)の卒業生についてお答えください。
 貴園(所)では、本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、そのうち勤務年数、職種、役職者数についてお答えください。

項目	園(所)数	人数
卒業生数	33	216

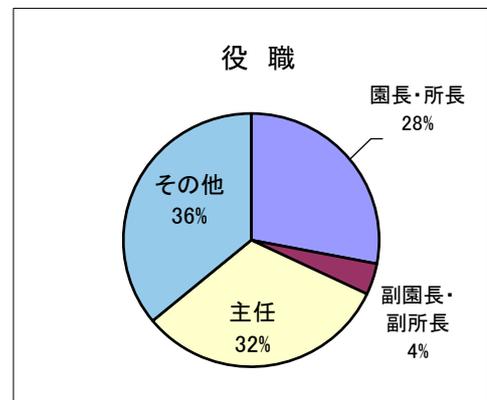
勤務年数	園(所)数	人数
1 1年～3年	31	80
2 4年～10年	21	60
3 10年以上	19	50
4 20年以上	4	9



職種	園(所)数	人数
1 保育士	16	95
2 幼稚園教諭	4	14
3 保育教諭	7	56
4 その他	5	7



役職	園(所)数	人数
1 園長・所長	6	7
2 副園長・副所長	1	1
3 主任	5	8
4 その他	2	9



令和3年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 秘書科 集計結果の概要（令和元年度卒業生対象）

依頼数 54 に対し、協力数は 38 で回収率は 70.4%で、昨年、依頼した同就職先（3ヵ月経過した卒業生）からの回収率（75.4%）と比べてやや低い結果となった。回答に協力いただいた企業・病院の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6ヵ月以内）についてはⅠ、Ⅱのとおりである。

Ⅲ 令和2年4月に採用された秘書科卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

Ⅲ-1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待にえていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が 73.7%とやや高い評価になっている。また、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」の割合が 15.8%、「やや応えていない」は 7.9%（3件）であった。

上記の結果から、秘書科の教育が多く企業・病院である程度は活かされていると考えられるが、否定的な評価やその他の回答をした企業・病院からのコメントには「退職」「部署移動」「もう少し自主的に行動できる人材を作してほしい」「社会人基礎力指導をさらに充実してほしい」「パソコンスキルは事務処理などでもいかされておられ即戦力となっています」等の記述があった。

なお、自主的に行動してほしい等の記述があったのは、秘書科が学修成果としてあげている「①自ら考え行動できる能力と幅広い教養や、知識・技能を身に付けている」の教育にまだ不十分などところがあることが考えられる。

Ⅲ-2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が 68.4%とやや低い評価になっている。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」の割合が 21.0%、「どちらかというやや低い」の回答は 5.3%（2件）であった。

上記の結果から、「どちらかといえば高い」の評価の方が多くことと、否定的な評価や「その他」が多いことが気になる。企業・病院からのコメントには「気が強く、学ぶ姿勢が少し欠けている」「採用者個人の意識は高い」等の記述があった。

設問Ⅲ-1で否定的な評価になっていた学生が、ほぼそのまま設問Ⅲ-2でも否定的な評価となっていたことより、マナーに関する指導や、自主的に行動できる力の育成、就職後も謙虚に学び続ける姿勢が必要なこと等の教育が足りていなかったことが考えられる。

Ⅲ-3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合は 81.6%と高い評価を得ている。「何ともいえない、わからない」の割合が 15.8%、「あまり熱心でない」の回答は 2.6%（1件）であった。

上記の結果から、ここ数年高い評価が続いているのはキャリア支援課の努力や、担当教員が病院・企業訪問を続けていただいた結果であると考えられる。なお、否定的な評価となっている企業・病院からのコメントには、「一般教養としての法学、金融教育を取得させてはいかがでしょうか」「2、3年は高卒を中心に採用を進めていく予定」等の記述があったことより、専門的な知識を必要とする企業等や、採用対象にずれがある企業にとって、就職支援活動が足りていないように見えるのではないかと考えられる。

Ⅲ-4. 今後、秘書科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が 68.5%、「採用は個人本位であり、何ともいえない」が 21.1%、「求人・採用をしていく予定はあまりない」の回答は 5.2%（2件）であった。

上記の結果から、「今後も積極的に求人・採用していきたい」と考えていただいている企業・病

院の割合（47.4%）が一番多いのはとても良いことであるが、「採用は個人本位であり、何ともいえない」「求人・採用をしていく予定はあまりない」「その他」の3つを合わせて31.5%の割合になる事が気になる。

企業・病院からのコメントには、「高卒を中心に採用を検討」「退職者が出れば求人・採用となる」等の記述があったのと、設問Ⅲ-1とⅢ-2で否定的な評価となっていた企業・病院が、採用等について否定的になっていると見受けられるため、「礼儀・マナー」等を含め秘書科の教育をきちんと身に付けた学生を就職させていくことが、今後の就職につながっていく一番の方法だと考えられる。

Ⅳ 貴社・貴院で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

「意欲・熱意」の回答が一番多く、次いで「コミュニケーション能力」「性格・人柄」が重視されている。

上記3点の項目は、順番が入れ替わることはあるが、毎年挙げられている事であり、秘書科の最重要教育課題として取り組んでいる事でもある。今後も上記3点を基本として、教育によりそれらの能力に秀でた人材を社会に送りだせるように努める。

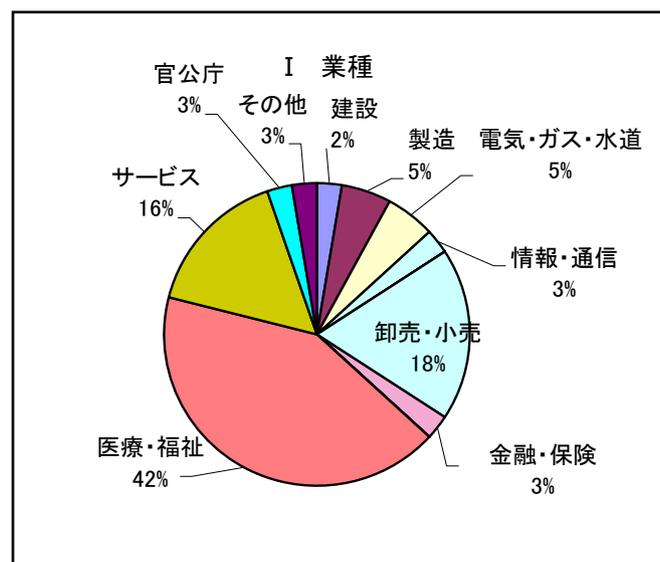
なお、4番目挙げられている項目は「礼儀・マナー」であり、秘書科教育の基本として、今後もしっかり指導していく必要がある。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (秘書科)

調査対象	令和元年度高松大学卒業生就職先 54社(院)	
実施時期	令和3年7月	
調査方法	郵送による質問紙法	
回収率	依頼数	54社(院)
	協力数	38社(院)
	回収率	70.4%

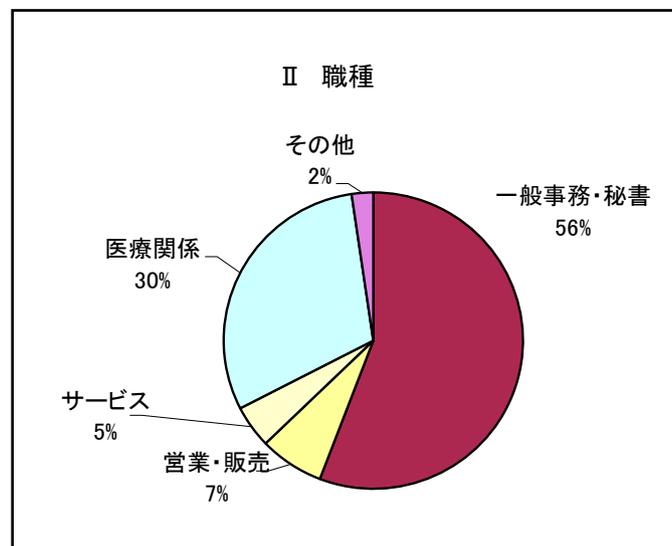
I 貴社・貴院の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	1
2	製造	2
3	電気・ガス・水道	2
4	情報・通信	1
5	運輸	0
6	卸売・小売	7
7	金融・保険	1
8	不動産	0
9	飲食・宿泊	0
10	医療・福祉	16
11	サービス	6
12	官公庁	1
13	その他	1



II 令和2年4月に採用された秘書科卒業生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した人数についてお答えください。

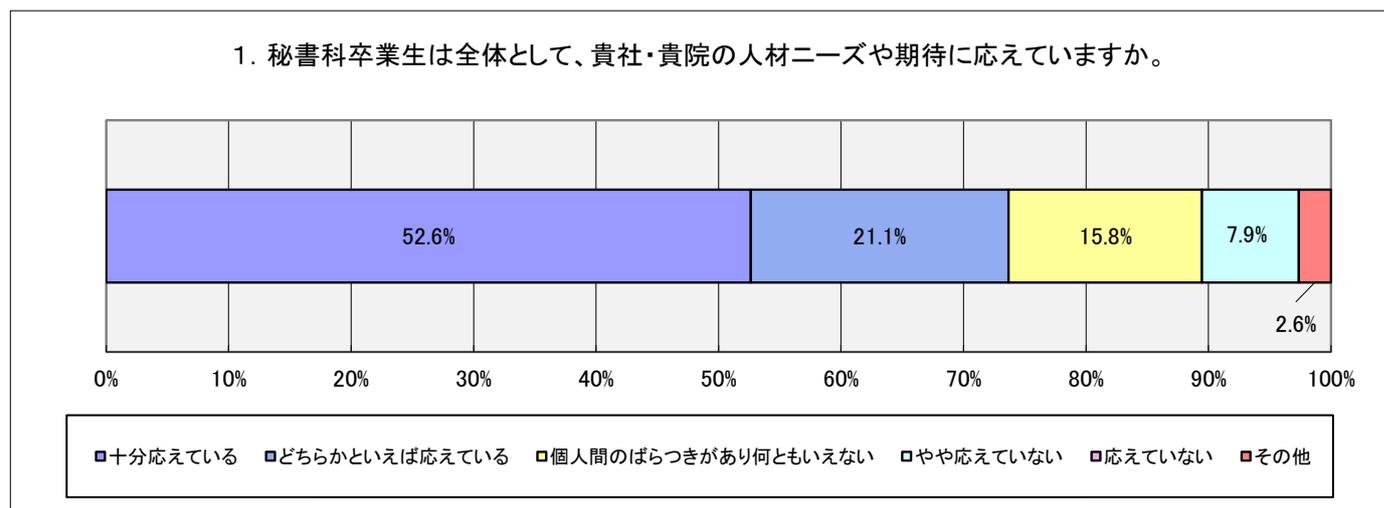
	職 種	件数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	一般事務・秘書	19	24	0
2	営業・販売	3	3	0
3	サービス	2	2	0
4	医療関係	13	13	1
5	その他	1	1	1



Ⅲ 令和2年4月に採用された秘書科卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

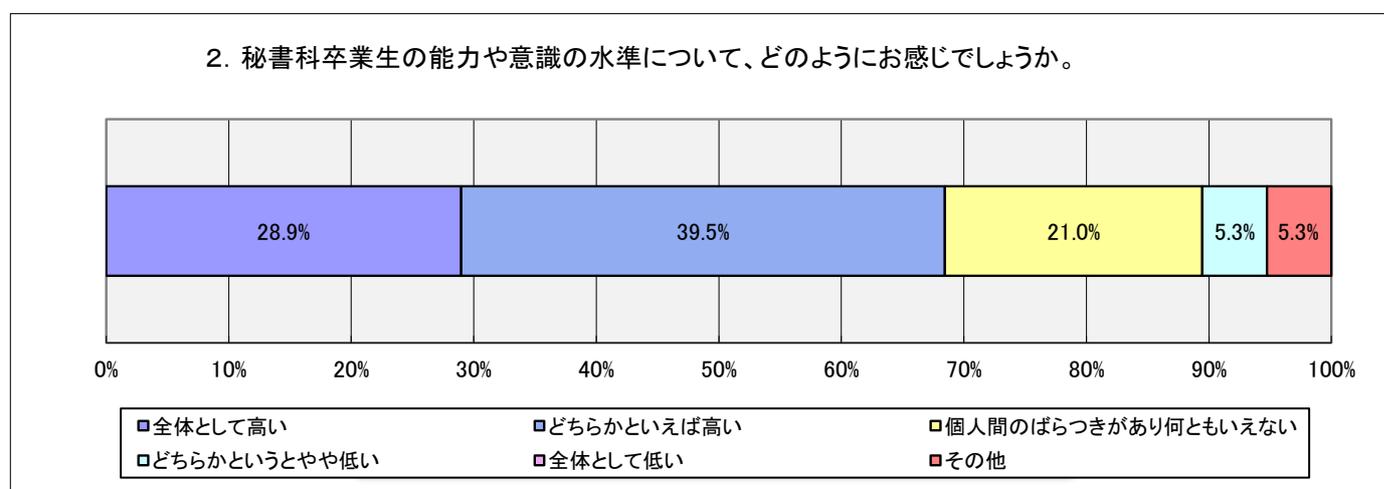
1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	20
2	どちらかといえば応えている	8
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	6
4	やや応えていない	3
5	応えていない	0
6	その他	1



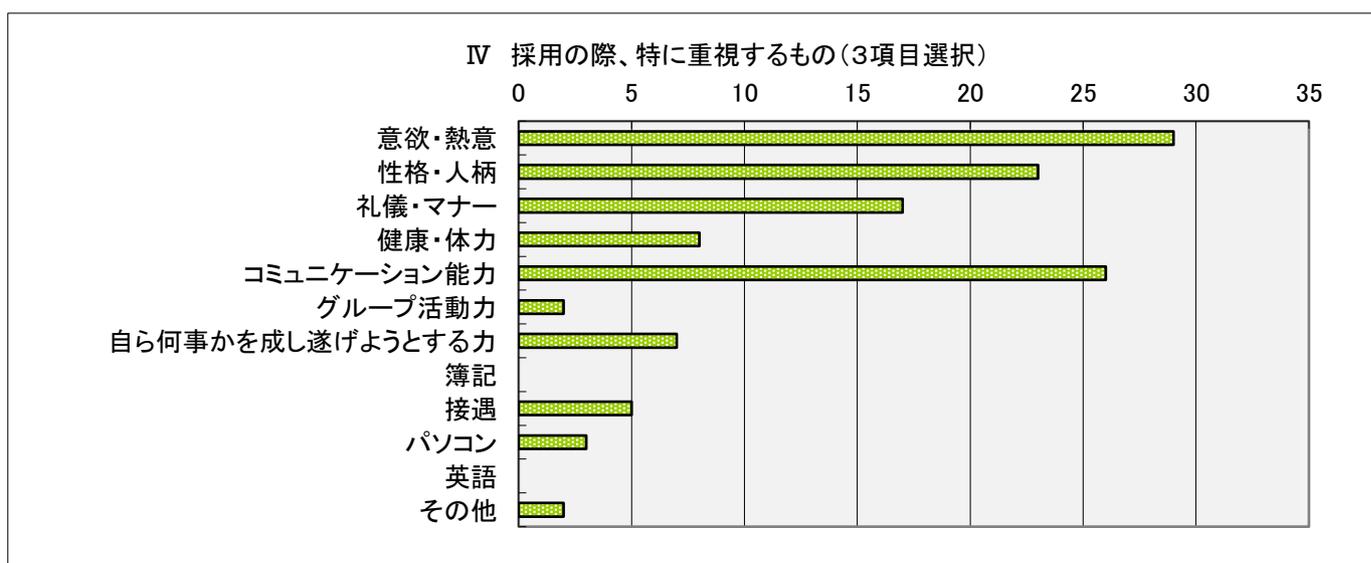
2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	11
2	どちらかといえば高い	15
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	8
4	どちらかというやや低い	2
5	全体として低い	0
6	その他	2



IV 採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

	項目	件数
1	意欲・熱意	29
2	性格・人柄	23
3	礼儀・マナー	17
4	健康・体力	8
5	コミュニケーション能力	26
6	グループ活動力	2
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	7
8	簿記	0
9	接遇	5
10	パソコン	3
11	英語	0
12	その他	2



返信先：FAX. 087-841-7158 (高松大学キャリア支援課) (送付状は不要です)
締切：令和3年7月30日(金)

高松大学 卒業生に関するアンケート (企業等)

I 貴社の業種についてお答えください。

- 1)建設 2)製造 3)電気・ガス・水道 4)情報・通信 5)運輸 6)卸売・小売 7)金融・保険
8)不動産 9)飲食・宿泊 10)医療・福祉 11)サービス 12)その他 ()

II 令和2年4月に採用された本学卒業生の職種ごとの人数についてお答えください。

- 1)営業・販売__名 2)総務・事務__名 3)製造・作業スタッフ__名 4)通訳・貿易__名
5)サービス__名 6)公務__名 7)その他 ()__名

III 令和2年4月に採用された本学卒業生の学部等名と人数についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者の人数と時期をお答えください。

- 1) 経営学部__名 (内留学生__名) うち退職__名 (____年__月)
2) 発達科学部__名 うち退職__名 (____年__月)
3) 大学院経営学専攻__名 (内留学生__名) うち退職__名 (____年__月)

IV 令和2年4月に採用された本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

該当する番号を1つ選んでください。

1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にえていますか。

- 1) 十分応えている 2) どちらかといえば応えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや応えていない 5) 応えていない 6) その他 ()

2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他 ()

3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他 ()

4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

- 1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は個人本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他 ()

V 貴社で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー 4) 健康・体力
5) コミュニケーション能力 6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力
8) 経営に関する専門知識 9) その他 ()

VI 本学卒業生を採用されたお立場から、本学の教育の方針・内容について、改善すべきこと、良いと思われることなど、お気づきの点がございましたら、具体的にご記入ください。

.....
.....
.....

◆貴社名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

返信先：FAX. 087-841-7158 (高松大学キャリア支援課) (送付状は不要です)

締切：令和3年7月30日(金)

高松大学発達科学部 卒業生に関するアンケート (教育・保育等)

I 貴校(園、所)の業種についてお答えください。

- 1) 公立小学校 2) 公立幼稚園 3) 私立幼稚園 4) 公立保育所(園) 5) 私立保育所(園)
6) 特別支援学校 7) 公立認定こども園 8) 私立認定こども園 9) その他()

II 令和2年4月に採用された発達科学部卒業生の仕事(職種)ごとの人数についてお答えください。 また、そのうち既に退職した者の人数と時期をお答えください。

- 1) 小学校教諭 名うち退職 名(年 月) 2) 幼稚園教諭 名うち退職 名(年 月)
3) 保育士 名うち退職 名(年 月) 4) 特別支援学校教諭 名うち退職 名(年 月)
5) 地域子育て支援センター職員 名うち退職 名(年 月)
6) 学童保育担当 名うち退職 名(年 月) 7) 病児保育担当 名うち退職 名(年 月)
8) その他() 名うち退職 名(年 月)

III 令和2年4月に採用された発達科学部卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。 該当する番号を1つ選んでください。

1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校(園、所)の人材ニーズや期待に応えていますか。

- 1) 十分応えている 2) どちらかといえば応えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや応えていない 5) 応えていない 6) その他()

2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他()

3. 本学の貴校(園、所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他()

4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。

- 1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は個人本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他()

IV 貴校(園、所)で、採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー 4) 健康・体力
5) コミュニケーション能力 6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力
8) 教育・保育に必要な技術(ピアノ等)や知識 9) その他()

V 発達科学部の卒業生を採用された立場から、本学発達科学部の教育について、改善すべき点、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがあれば遠慮なくご自由にご記入ください。

.....
.....

VI 最後に、本学発達科学部の卒業生についてお答えください。

貴校(園、所)では、本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、そのうち職種、役職者数についてお答えください。

◇卒業生数 _____名

◇職種 1) 小学校教諭 _____名 2) 幼稚園教諭 _____名 3) 保育士 _____名

4) 特別支援学校教諭 _____名 5) その他() _____名

◇役職 1) 園長・所長 _____名 2) 副園長・副所長 _____名 3) 主任 _____名 4) その他() _____名

◆貴校(園・所)名 _____

回答された方の部署名・役職名 _____

ご芳名 _____

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

返信先：FAX. 087-841-7158 (高松短期大学キャリア支援課) (送付状は不要です)

締切：令和3年7月30日(金)

高松短期大学秘書科 卒業生に関するアンケート

I 貴社・貴院の業種についてお答えください。

- 1)建設 2)製造 3)電気・ガス・水道 4)情報・通信 5)運輸 6)卸売・小売 7)金融・保険
8)不動産 9)飲食・宿泊 10)医療・福祉 11)サービス 12)官公庁 13)その他()

II 令和2年4月に採用された秘書科卒業生の職種ごとの人数についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者の人数と時期をお答えください。

- 1) 一般事務・秘書 名うち退職 名(年 月) 2) 営業・販売 名うち退職 名(年 月)
3) サービス 名うち退職 名(年 月) 4) 医療関係 名うち退職 名(年 月)
5) その他() 名うち退職 名(年 月)

III 令和2年4月に採用された秘書科卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

該当する番号を1つ選んでください。

1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待にえていますか。

- 1) 十分応えている 2) どちらかといえば応えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや応えていない 5) 応えていない 6) その他()

2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他()

3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他()

4. 今後、秘書科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

- 1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は個人本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他()

IV 採用の際、特に重視するものを3つ選んでください。

- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー 4) 健康・体力
5) コミュニケーション能力 6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力
8) 簿記 9) 接遇 10) パソコン 11) 英語
12) その他()

V 秘書科の卒業生を採用されたお立場から、本学秘書科の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、お気づきの点がございましたら、具体的にご記入ください。

.....
.....
.....

◆貴社・貴院名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

令和3年度「就職先からの卒業生に対する評価（卒業生
に関するアンケート）」集計結果報告書
（令和元年度卒業生対象）

発行日 令和3年9月30日
編集 高松大学・高松短期大学 学生委員会
発行 高松大学・高松短期大学
〒761-0194
香川県高松市春日町960番地
TEL 087-841-3255（代表）
FAX 087-841-3064